

担当科目	1) 現行授業の目標と教育効果	2) 自己評価	3) 授業改善・対応方法
S201072 グリーン マーケティ ング	地球環境問題への対応をはじめ、企業の社会的存在を念頭においたマーケティングのあり方を理解し、実際に行われているマーケティング活動に対して関心を持ち、自分自身でグリーンマーケティング戦略を考えることができるようになる。地球環境問題に関する必要な教養と職業的倫理観を身につけ、地球環境問題への対応をはじめ、企業が社会的存在として対応するマーケティング・マネジメントができるようになる。	全て遠隔授業で行った。授業内容の説明をUNIPAの授業資料管理で資料とその内容を配信し、学習する方法で実施した。対面授業では、質問をして学生の理解等を確認しながら実施したので、学生に合わせて授業ができた。しかし、遠隔授業では十分なフォローができなかった。	授業評価：－ 回収率：0.0% 科目GPA：2.5 アンケートへの回答の指示を忘れたので、回答がなかったと思われる。今後も遠隔授業が行われるようであれば、資料を読んで学習するだけでなく、音声も使用した資料等を配信して対面授業に近づけるようにしたい。
S201088 専門ゼミ ナールⅣ	自分のテーマに基づいた研究成果を効果的に伝えるコミュニケーションができるようになる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的な判断力で自分の関心テーマについて考えることができるようになる。	前半は遠隔授業、後半は対面授業を実施した。卒業論文のテーマを決めるための準備という位置づけで、学生は関心のある事柄について情報収集し、まとめ、発表を行った。どのような情報があるのかについて、インターネットだけではなく、文献検索の指導に努めた。前半は、UNIPAでの授業資料の配信と課題提出のため、やり取りがうまくできないことが多かったが、後半の対面授業で補えた。	授業評価：4.2 回収率：100.0% 科目GPA：2.0 受講生が1人のため、学生の状況に合わせて指導を行ったが、学生自身は本授業の目標への到達度が低いと回答しているので、今後は学生自身が達成感が持てるように指導して行きたい。
S201071 販売管理論	販売管理についての基本的な考え方や専門用語を理解し、小売経営の基本的な要素について答えることができるようになる。 ビジネスパーソンとして、販売管理の専門知識を主体的に身につけることで、企業や会社で実際にマネジメントができるようになる。	全て遠隔授業で行った。授業内容の説明をUNIPAの授業資料管理で資料とその内容を配信し、学習する方法で実施した。対面授業では、学生に質問を投げかけながら、学生自身が日々の買い物場をイメージし、授業内容と対比できるようにして、理解が進むようにした。しかし、遠隔授業では学生の理解を課題の解答からみるだけでは、不十分な点が多く、遠隔授業の方法を改善する必要があると感じた。	授業評価：3.4 回答率：26.3% GPA平均：1.7 受講生の約1/4の評価であるので、評価に対するコメントは難しいが、GPA平均が1.7と低かったのは、授業内容が十分に理解できていなかったと反省している。今後も遠隔授業が実施されるならば、対面授業に近づけるように、資料を読んで学習するだけでなく、写真や音声も使用した資料等を配信してより理解が進むようにしていきたい。
L201045 キャリアデザインⅤ集 中 S	就職活動の準備としてインターンシップ参加に必要な書類を作成し、志望動機、自己紹介文を作成できるようにする。インターンシップに参加し、記録を作成できる。 近づいてきた就職活動対策を意識し、プレ社会体験としてインターンシップに参加し、仕事や就業に対する理解を深める。	今年度は、コロナ禍によりインターンシップの実習が困難であると判断し、自分のキャリアシートを作成する授業に切り替えた。インターンシップ実習を希望する学生には、個別での参加を勧め支援をすることを伝えたが、実習希望者はなかった。当初の授業目標と異なる授業になったため、学生の要望に合った内容ができなかったことを残念に思う。	授業評価：3.5 回答率：62.5% GPA平均：2.0 次年度はこの科目がなくなるが、インターンシップを希望する学生には支援を続けて行きたい。

S201036 インターン シップ集中	<p>就業体験を通して社会のシステムや企業の運営方法を習得します。就業体験を通して働くことの意味を理解して大学在学中に自らの人生設計を描くことができるようになります。</p> <p>就業体験を通して社会の仕組みやコミュニケーション能力を取得します。ビジネスパーソンとして必要な教養や職業倫理を身につけることを目的とします。</p>	<p>今期はコロナ禍の影響で、実習先を見つけることが困難だったので、学生の相談にのり、実習先を見つけられるように支援したが、4割の学生しか単位取得できなかった。対面授業が行われている時と異なり、時間をとって丁寧に指導する機会が少なかったため、積極的に動く学生には指導できたが、消極的な学生を引き上げることができなかった。</p>	<p>授業評価：4.2 回答率：30.0%</p> <p>今期は、ZOOMの使用以外に個別に対面で指導を行ったので、実習ができた学生からの評価であると思う。今後もこの科目は、個別に指導する必要があるため、学生が安心して実習に行けるように丁寧に指導して行きたい。</p>
S201056 専門ゼミ ナールII	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>前半は遠隔授業、後半は希望者のみ対面授業を行った。履修者が実質5名のため、それぞれの関心事について調べ、まとめ、パワーポイントを使用して発表させる方式で進めた。発表内容について、質問し、レクチャーしていった。学生自身が興味のある分野を扱うように取り組んだので、積極的に取り組んでいたと思う。対面授業への参加者が少ないので、互いに話し合う場面を持つことができなかったのが残念である。</p>	<p>授業評価：4.2 回収率：33.3% 科目GPA：2.0</p> <p>コロナ禍で遠隔授業が中心のため、対面授業も希望者しかできないので効率よく指導ができないため、積極的に対面授業に参加した学生には指導ができた結果であると思う。今後も遠隔授業が多くなれば、ZOOM等を用いて発表し議論する場を設けるようにしたい。</p>
S201020 マーケティング論	<p>達成目標</p> <p>マーケティングの基礎理論について理解することができる。</p> <p>授業で学んだキーワードを活用して、企業のマーケティング戦略が分析できるようになる。</p> <p>自分自身でマーケティング戦略が立案できる</p>	<p>すべて遠隔授業で行った。UNIPAの授業資料に、パワーポイントとその内容の説明を配信し、事例と理論を組み合わせる日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明して理解を促した。</p> <p>できる限り具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。授業を通して身につけたマーケティング・センスによって、実践的な顧客志向の判断が少しでもできるようになったと思う。</p>	<p>授業評価：3.8 回収率：61.8% 科目GPA：2.3</p> <p>遠隔授業の場合は、音声や写真等を用いてよりわかりやすくするようにしていきたい。また、対面授業となった場合は、商品の現物の提示や動画を取り入れ、テーマに対する関心を高め、より深く学習できるようにしていきたい。</p>

<p>S201008 経営の基礎 I</p>	<p>他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスケジュール・スキルを身につけることができ、「現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力」とはどのような能力なのか、その能力はどのようにして身に付けるのかを学ぶ科目である。</p>	<p>すべて遠隔授業で実施した。大学生入門および経営学への入門を目的にした授業であるため、UNIPAの課題管理に高校生と大学生の違いや経営学とは何を学ぶ学問なのかを考えさせる課題を出し、指定された字数で解答する形式で授業を進めた。自分のことに関する課題はできていたが、考える課題については出来が良くないと感じた。遠隔授業に対して学生も私も初めてのことで戸惑うことが多かったが、反応が悪い学生には電話連絡するなどして対応した。</p>	<p>授業評価：4.0 回収率：100.0% 科目GPA：2.7 遠隔授業の場合は、収集した資料を読んでまとめるだけでなく、自分の考えをしっかりと書けるように丁寧に指導していきたい。指導が難しいところは、対面授業を利用して補うようにしたい。</p>
<p>S201042 経営戦略論 【開放】</p>	<p>経営戦略の基本的な考え方を身に着けるとともに、事例を通して実践的な考え方を習得し戦略・手法の活用ができるようになる。</p>	<p>経営戦略論は、経営学を学ぶ中での中核的位置づけにあり、これまで学んできたマネジメントに関する知識を体系化して理解するためにも重要である。講義動画をYouTubeにアップし、都度課題提出させることで、遠隔授業の制約がある中、対面授業に近いかたちで授業を進めることができたとして自己評価している。評価平均点4.2。</p>	<p>同名の講義として、本年度後期から2年生(必修科目)を担当する。本年度前期講義での学生の反応を参考として、より具体的な経営戦略事例をとりあげ、理解を促進するよう努めていきたいと考える。</p>
<p>S201047 国際金融論</p>	<p>国際金融の基礎理論を理解し、国際金融に関する新聞記事やニュースを理解できるようになること。現在の為替レートは円安なのか、あるいは円高なのか。さらにその為替レートの水準は、経済全体や個別の企業やわたしたちの生活にどのような影響を与えているのかを説明できるようになること。</p>	<p>国際金融論を理解するには、国境を越える経済取引に不可欠である為替レートの知識が不可欠である。遠隔授業による制約の中、講義動画をYouTubeにアップし、都度課題を課すことで、対面授業に近い教育効果が得られたと自己評価している。評価平均点4.2。</p>	<p>今後、通常の対面授業が可能となった場合においても、補完教材として授業動画を活用していきたいと考える。為替レートを理解するには、具体的な取引事例を用いて考える機会を増やしていきたい。</p>
<p>S201075 ファイナンシャル・プランニング III</p>	<p>不動産について学び、登記事項証明書からその土地や建物の物理的状況、権利の状態等を的確に読み取ることができる。</p>	<p>ファイナンシャルプランニングIIIは、ファイナンシャルプランニングI、IIに続き、総仕上げ的な位置づけにある。遠隔授業の制約の中、講義動画をYouTubeにアップし、都度課題を課すことで、対面授業に近い教育効果を得ることができたとして自己評価している。評価平均点4.1。</p>	<p>今後、通常の対面授業が可能となった場合においても、補完教材として授業動画を活用していきたいと考える。為替レートを理解するには、具体的な取引事例を用いて考える機会を増やしていきたい。</p>

S201081 国際経済論	貿易について理解し、貿易を通じて世界的な相互依存関係がさらに強まっていること、アジア太平洋地域との一体化がさらに進むことが理解できる。国際収支統計を活用して、将来の為替レートの動きを予想することができる。	国際経済論を理解するためには、自由貿易が双方の利益になることを比較優位の理論から理解したうえで、現実的に国際貿易をめぐる駆け引きがなされている現状を知る必要がある。遠隔授業の制約の中、講義動画をYouTubeにアップし、都度課題を課すことで、対面授業に近い教育効果を得ることができたと自己評価している。評価平均点4.6。	今後、通常の対面授業が可能となった場合においても、補完教材として授業動画を活用していきたいと考える。為替レートを理解するには、具体的な取引事例を用いて考える機会を増やしていきたい。
S201028 専門ゼミナールⅠ（新カリ）	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	遠隔授業の制約の中、Zoomを使ってゼミを行った。自著を教科書として、経営学を学ぶための基礎となる金融経済の知識習得に努めた結果、一定の効果があったと自己評価している。評価平均点4.1。	テーマごとに担当者を決めて、報告させることで、学生が主体的にリサーチし、プレゼンするスキルを向上させるよう授業を改善していきたいと考えている。
S201059 専門ゼミナールⅡ【旧カリ】	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	遠隔授業の制約の中、金融の基礎知識を習得させるために、銀行ビジネスに関する授業動画をYouTubeにアップし、都度課題を課した。金融ビジネスの基本知識について理解させることができたとして自己評価している。評価平均点なし。	後期以降のゼミにおいては、最新の金融動向に関する教科書を使い、各自章ごとに担当者を決めて報告させ、全員で討論させる。これにより、学生の主体的なリサーチとプレゼンのスキル向上を図っていきたいと考えている。
S201090 専門ゼミナールⅣ	自分で設定したテーマについての研究成果を卒業論文にすることができる。	遠隔授業の制約の中、Zoomを用いて、学生ごとに個別の指導を行った。卒業論文のテーマ設定と構想と章立てについて進めることができたとして自己評価している。評価平均点なし。	よりきめ細かく個別指導し、学生の発想や主体性を重視し、よりよい内容の卒業論文が作成でき、その内容を的確にプレゼンできるよう指導していきたいと考える。
L201049 中国語Ⅰ	中国語の発音、基本的な文法を学習するとともに、実践的な状況、例えば「中華料理を食べる」をテーマに実践的な会話能力を磨きます。語彙力と表現力を養い、基礎会話能力を養成します。同時に、中国社会への理解を深めるとともに、中国語学習への意欲向上を図り、「中国語」の基礎固めを行います。中国語の発音構造や特徴を理解し、簡単な挨拶表現ができる。中国語の基礎的な会話を行うことができる。中国語の側面にある文化を学習し、中国社会への理解を深めることができる。	全て遠隔授業で実施した。遠隔授業でも学びやすいように、本来対面授業で使う予定であったPPT資料をUNIPAの授業資料で配信し、また教科書、付属のCDと併せて学習する方法で実施した。それ以外には、映像資料も配信したが、思ったほど視聴率が伸びず、語学では遠隔授業は対面授業にはかなわないことを実感した。	評価4.4 受講者88人、回答率は34%、低い回答率でした。今後、授業改善アンケートの結果などを参考にして、対面授業と遠隔授業を併せて最善の授業方法を検討し、授業を実施するように努める。語学の授業では遠隔授業で受講者全員参加型の授業ができるように工夫していきたい。

L201050中国語Ⅰ	中国語の発音、基本的な文法を学習するとともに、実践的な状況、例えば「中華料理を食べる」をテーマに実践的な会話能力を磨きます。語彙力と表現力を養い、基礎会話能力を養成します。同時に、中国社会への理解を深めるとともに、中国語学習への意欲向上を図り、「中国語」の基礎固めを行います。中国語の発音構造や特徴を理解し、簡単な挨拶表現ができる。中国語の基礎的な会話を行うことができる。中国語の側面にある文化を学習し、中国社会への理解を深めることができる。	全て遠隔授業で実施した。遠隔授業でも学びやすいように、本来対面授業で使う予定であったPPT資料をUNIPAの授業資料で配信し、また教科書、付属のCDと併せて学習する方法で実施した。それ以外には、映像資料も配信したが、思ったほど視聴率が伸びず、語学では遠隔授業は対面授業にはかなわないことを実感した。	評価4.4 受講者は50人、回答率は21%、低い回答率でした。 今後、授業改善アンケートの結果などを参考にして、対面授業と遠隔授業を併せて最善の授業方法を検討し、授業を実施するように努める。語学の授業では遠隔授業で受講者全員参加型の授業ができるように工夫していきたい。 ↓
S201032専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	本来、対面授業でゼミ生が少人数だからこそ交友関係を広げることができ、学生一人一人の関心があること、経営への興味や関心の度合、学生の理解度を確認しながら指導する予定であったが、前半はほとんど遠隔授業で、後半は学生が使いやすいSNSツールでコミュニケーションを取った。また、個別指導や、退学意向のあるゼミ生も一緒に前期の学習を終えられたことを評価したい。	評価は5.0。6人のゼミ生のうち、4人が回答した。 高い評価だったが、ゼミ生全員の回答ではなかったもので、全員が納得した授業になったとは言い切れない。今後も個々の学生へのきめ細やかな指導ができるよう心がけると同時に、授業内でゼミ生全員に疑問を共有し、共に考え、教え合うことを遠隔授業でもできるように工夫して行く。
S201066 専門ゼミナールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	ほとんど遠隔授業で実施した。毎回の授業内容への理解を深めるため、各自が感心を持つテーマについて主体的に調べさせ、考えてきたことを学生同士使いやすいSNSツールを使って、遠隔授業でゼミ生とのコミュニケーションをとらなかった部分を補いながら、一人一人が学習面で困っていることに応え、学生生活を少しでも楽しく続けるための意欲を持ってもらえるように、学生に寄り添うことに努めた。	評価は4.8 ゼミ生6人中3人から回答があった。 6人のうち、まじめに取り組んでいたのは4人で、他の二人はなかなか積極的に動かず、やる気を出させるために、興味を持てるような授業内容を工夫し、ゼミ生一人一人へのきめ細やかな指導ができるよう心がける。

S201097 専門ゼミ ナールIV	日中間の文化的差異を深く理解し、中国をより深く知るための方法を身につける。自分で選択したテーマの研究成果を卒業論文にするための準備ができるようになる。ビジネス場面におけるプレゼンの前の段階として様々な前準備のやり方が身につく。	ほとんど遠隔授業で実施した。後半は希望する学生に個別指導をした。卒業論文の作成準備が主体となるが、各ゼミ生がこれまで学習してきたことを踏まえ、各自で自分が一番関心のあるテーマを選択、設定させ、卒論の進捗状況の報告と提出をさせ、LINEグループ通話でディスカッションを行いながら、研究を進めさせた。ゼミ生一人一人へのきめ細やかな指導には努めた。	評価は4.4 履修者は7名で、授業評価回答率は100%。高い回答率で、一人だけはすべての評価項目で低評価だった。ゼミ生全員それぞれの卒論研究の進捗状況、就職活動に合わせて授業を進めたつもりだったが、今後よりゼミ生の全員の要望に答えられる授業を進めていく。
S201103 地域研究	中国に関する基礎知識を理解する。中国の社会変化を象徴する具体的な事例を通して、「中国」を客観的にみることができるようになる。現代中国社会に対する理解を深めることができる。中国のビジネスを理解するため、中国そのものを理解することを目的とします。具体的には中国人の考えを理解して中国への関心を高め、変化しつづける中国、そのような変化を中国人自身がどのように考えているかを、総合的に中国の文化と社会を理解することにより、中国のさまざまな社会問題を取り扱う基本的な方法論を身に付けることを目的とします。	全て遠隔授業で実施した。遠隔授業であるため、資料が多かったが、UNIPAにアップできる容量が限られていたため、学生に合わせてyoutubeにアップしたり、それでも対面授業よりは学生には少し負担が大きかったように思う。質問の対応もUNIPA、メールだけの対応ではなく、LINEでの対応もした。予定していた発表も実施できなかったが、発表用のデータを作成させた。	評価は4.60。回答率は25%。履修者8名のうち、2名しか授業評価回答がなかったことはとても残念だった。今年度は予定していた授業方法を変更し、映像資料を豊富に取り入れたつもりだったが、きちんと見てくれてなかった。
L201031 日 本語中級	基本的なやりとりを超える程度の日本語を運用することができる。日本語能力試験N2以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身につけることができる。以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。	履修者の出身国を見ると、漢字圏である中国、非漢字圏であるネパール、ベトナム、ウズベクスタンが混在していた。このようなクラスは一見すると緊張感に満ちて授業運営がしやすいように見えるが、ともすれば同出身国の者同士でかたまってしまいう恐れがある。しかし、オンライン授業のため、その心配はなかった。一週間に二回の授業のため、課題をこなすのは大変だったと思うが、ほとんどの学習者はついてきた。ただ、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学ばせることができたかについては、やや心もとない。	複数のテキストを使っているが、偏りが出ないように注意していきたい。作文指導にも力を入れたい。これは前年度からの課題でもある。作文指導をした後のフィードバックをどうするかについても工夫をこらしていきたい。

L201032 日本語上級	<p>日常的な場面だけでなく、より幅広い場面で使われる日本語を運用することができる。日本語能力試験N1以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身につけることができる。以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な優れた日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。</p>	<p>履修者の出身国を見ると、漢字圏である中国、非漢字圏であるネパール、ベトナムが混在していた。このようなクラスは一見すると緊張感に満ちて授業運営がしやすいように見えるが、ともすれば同出身国の者同士でかたまってしまふ恐れがある。しかし、オンライン授業のため、その心配はなかった。上級と言っても、学習者間のレベル差は大きいのが実感できた。逆に言うと、レベルの低い者がレベルの高い者から答えを聞き出して丸写しするという事態は避けられていた。その点に注意するあまり、ほかの点に対する注意力がやや削がれたのではないかと自覚している。</p>	<p>複数のテキストを使っているが、偏りが出ないように注意していきたい。上級のテキストは漢字が多く、漢字圏出身者の有利さがはっきりしてくる。非漢字圏出身者のケアについて一層工夫していきたい。</p>
L201003 現代日本の文化研究	<p>レベルの高い日本語の文章に向き合い、その内容や論理展開についてより深く理解することができる。読解力の基礎となる語彙力と文法力を増強し応用力を養うことができる。現代日本の文化についての理解を深めることができる。以上3点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、現代日本の企業社会で使われる独特の日本語表現を学ぶことを教育効果としている。</p>	<p>履修者は全員日本語能力試験N1合格者またはそれに相当する能力の保持者であった。とはいえ、オンライン授業のため、彼らと会話したわけではなく、その能力を実感することは容易ではなかった。その対策として、テキスト以外のもの(例えば諺・慣用句)についての調査や作文にも取り組むように指導を行ったが、まだ工夫が足りないと自覚している。</p>	<p>指定テキストには、日本人学生にとってもほとんど馴染みのないビジネス言葉(例えば「稟議書」)がたくさん含まれている。いつ、どんな時に使うのかについて、なるべくわかりやすく具体的に説明していきたいと思う。</p>
L201013 スタディスキルS1	<p>効果的にノートを取り、授業で学んだ知識を後から自分で再現できるようになる。レポートやプレゼンテーション用のレジュメやスライドの構成を自ら考え、形式にのっとりそれらを作成することができる。図書館やインターネットを利用して課題に関連する情報を収集し、整理することができる。以上3点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるようにすることを教育効果としている。</p>	<p>今年度初めて担当した科目であり、受講者も多く、またすべてオンライン授業だった。そのため、毎回の授業をこなしていくのに精一杯で、精神面でのゆとりが欠けていた。授業の質についてはまだまだ改善しなければならないと思った。</p>	<p>スタディスキルの授業内容は、他の授業の基礎となるものである。ここをおろそかにすると、レポート提出やプレゼンテーションなどにおいて苦勞することになる。この現実を知らせていけたらと思う。対面授業が望ましいが、オンライン授業でも学生たちの能力向上のために工夫を重ねたいと思う。</p>

S201002 異文化理解	国際ビジネスの素養として、自国の文化とは異なる諸文化についての理解を深めることができる。様々な国・地域の文化の共通点・相違点を把握し、諸文化を尊重する態度を養うことができる。以上2点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、様々な国・地域の文化について学ぶことを教育効果としている。	経営学部総合経営学科の1年留学生全員が履修した授業であり、彼ら自身が日本という異文化空間の中で生活しているため、授業への参加意欲は非常に高く、その点で教える側としては有利であった。とはいえ、オンライン授業のため、前年度のように地球儀を持ち込んで学生たちと言葉を交わす授業ができず、自らの非力もあり、隔靴搔痒の感はぬぐえなかった。	依然として取り上げる地域に偏りがあることを自覚している。具体的には中央アジア、中東、アフリカについてはあまり触れることができず、今後の課題としていきたい。また、視覚面に訴える資料を充実させたい。
S201004 経営の基礎 I	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。以上の3点を到達目標としている。高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスチューデント・スキルを身につけることを教育効果としている。	すべてオンライン授業だったが、学生たちからの反応は悪くはなかった。必修科目ということもあり、課題提出状況も同様であった。資料の提供も適切だったと思う。しかし、学生たちが自ら考えて答えを書くレベルとなると、決して高いものではなかった。指導力不足を実感している。	大学の授業では、自らの頭でしっかり思考し、自分の言葉で課題なりレポートなりをまとめることが大切である。このことを指導していきたい。オンラインのみでは難しいので、対面授業の時に具体例を挙げながら指導していきたい。
L201024 情報リテラシー A1	①情報倫理を身につけることかできる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	今期の授業は新型コロナウイルス感染防止のため、すべてオンライン授業となった。対面授業になっても受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。 情報リテラシーは、もともと演習科目なので実際に操作しなければ学修できない科目であったため今回のオンライン授業は残念であった。大半の学生が目標を達成できていないと思う。	アンケート結果 回答率=88.9 設問平均=4.1 GPA平均=3 数値を見る限り学生はオンラインによる授業に満足しているようだ。これが対面になると数値が下がるということは結果に対して、事細かく言わないということである。

L201025 情報リテラシー SD1	①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	今期の授業は新型コロナウイルス感染防止のため、すべてオンライン授業となった。対面授業になっても受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。 情報リテラシーは、もともと演習科目なので実際に操作しなければ学修できない科目であったため今回のオンライン授業は残念であった。大半の学生が目標を達成できていないと思う。	アンケート結果 回答率=59.2 設問平均=4.0 GPA平均=3 数値を見る限り学生はオンラインによる授業に満足しているようだ。これが対面になると数値が下がるということは結果に対して、事細かく言わないということである。
L201026 情報リテラシー S1	①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	今期の授業は新型コロナウイルス感染防止のため、すべてオンライン授業となった。対面授業になっても受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。 情報リテラシーは、もともと演習科目なので実際に操作しなければ学修できない科目であったため今回のオンライン授業は残念であった。大半の学生が目標を達成できていないと思う。	アンケート結果 回答率=56.4 設問平均=4.0 GPA平均=3 数値を見る限り学生はオンラインによる授業に満足しているようだ。これが対面になると数値が下がるということは結果に対して、事細かく言わないということである。
L201027 情報リテラシー S2	①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	今期の授業は新型コロナウイルス感染防止のため、すべてオンライン授業となった。対面授業になっても受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。 情報リテラシーは、もともと演習科目なので実際に操作しなければ学修できない科目であったため今回のオンライン授業は残念であった。大半の学生が目標を達成できていないと思う。	アンケート結果 回答率=53.6 設問平均=3.9 GPA平均=3 数値を見る限り学生はオンラインによる授業に満足しているようだ。これが対面になると数値が下がるということは結果に対して、事細かく言わないということである。

L201028 情報リテラシー S3	<p>①情報倫理を身につけることができる。</p> <p>②簡単なビジネス文書を作成することができる。</p> <p>③簡単な表計算・グラフを作成することができる。</p>	<p>今期の授業は新型コロナウイルス感染防止のため、すべてオンライン授業となった。対面授業になっても受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。</p> <p>情報リテラシーは、もともと演習科目なので実際に操作しなければ学修できない科目であったため今回のオンライン授業は残念であった。大半の学生が目標を達成できていないと思う。</p>	<p>アンケート結果</p> <p>回答率=67.4</p> <p>設問平均=3.9</p> <p>GPA平均=3</p> <p>数値を見る限り学生はオンラインによる授業に満足しているようだ。これが対面になると数値が下がるということは結果に対して、事細かく言わないということである。</p>
S201015 IoT 社会【開放】	<p>IoTの発展の経緯や仕組みを理解し、説明することができる。</p>	<p>経営学部の学生はオンライン授業オンライン授業となると自ら学習しなくなるようだ。課題に工夫が必要である。</p>	<p>アンケート結果</p> <p>回答率=53.1</p> <p>設問平均=4.1</p> <p>GPA平均=2.7</p> <p>数値を見る限り学生はオンラインによる授業に満足しているようだ。しかし、gpaが今一つ伸びていない。試験はレポートなのだが、やはり内容が理解できていないようだ。もう少しわかりやすい授業にしたい。</p>
S201026 専門ゼミ ナールⅠ (新カリ)	<p>経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。</p> <p>問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。</p>	<p>2年生の前期専門ゼミは、ITパスポートの資格取得にがんばってきたが1名の合格であった。オンライン授業のため自宅学習をしない学生が大半である。ITパスポート試験を受験しても点数が伸びていないのがわかった。</p>	<p>アンケート結果</p> <p>回答率=87.5</p> <p>設問平均=3.5</p> <p>GPA平均=2.3</p> <p>アンケート結果だけを見るオンライン授業はウェルカムであり学生自らの学習が見受けられない。今後課題等に工夫が必要である。</p>

<p>S201057 専門ゼミ ナールII 【旧カリ】</p>	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>3年生の前期専門ゼミは、ITパスポートの資格取得にがんばってきたが合格者は0であった。学生がいかにか口ばかりであることが理解できた。今後課題等に工夫をしたい。</p>	<p>アンケート結果 回答率=不明 設問平均=不明 GPA平均=1.6 アンケートに回答する指示を忘れました。</p>
<p>S201102 専門ゼミ ナールIV</p>	<p>企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p>	<p>学生は、卒論のタイトル決めもなかなか進まず、就活に力を注いでいるようだ。指導方法の模索。</p>	<p>アンケート結果 回答率=不明 設問平均=不明 GPA平均=4.0 .アンケートに回答する指示を忘れました。</p>
<p>L201017 英語コミュニケーショ ンA【A1】</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>履修者数は建築学科1年生45名であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であった。毎週、ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを送信し、学習が半分程度進むと演習課題（30分以内のテスト）を配信した。また、基礎英語を復習できるドリルサイトは、受講期間中いつでも取り組めるように計画を立て、実行した。その結果、90%以上の学生が毎週の学習やASUドリルに取り組み、演習課題と定期レポート試験をウェブ上で提出し、約80%が学生が合格した。学習の途中で、担当教員に授業Q&Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきたので、すべて丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。学生の中には、最初からオンライン授業について来られない学生がいたり、途中で学習を諦めてしまう学生がいたが、全体として真面目に取り組んが学生が多かったので、授業自体は進めやすかった。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアやグループで英語を使いながら学習をすることができなかつたのは残念であった。</p>	<p>授業評価 4.0 オンライン（リモート）授業であったが、毎週、配布したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを利用すれば、いつでも習ったユニットを何回でも復習できることが良かったと思われる。ただ、演習課題（まとめのテスト）に関しては、取り組める日時と時間（30分以内）に指定したことで、参加する学生の割合が低くなったので、もう少しゆとりのある設定をし、全員が参加できるようにしたい。</p>

<p>L201019 英語コミュニケーションA 【SD1】</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>履修者数は建築学科1年生45名であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であった。毎週、ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを送信し、学習が半分程度進むと演習課題（30分以内のテスト）を配信した。また、基礎英語を復習できるドリルサイトは、受講期間中いつでも取り組めるように計画を立て、実行した。その結果、90%以上の学生が毎週の学習やASUドリルに取り組み、演習課題と定期レポート試験をウェブ上で提出し、約80%が学生が合格した。学習の途中で、担当教員に授業Q & Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきたので、すべて丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。学生の中には、最初からオンライン授業について来られない学生がいたり、途中で学習を諦めてしまう学生がいたが、全体として真面目に取り組んが学生が多かったので、授業自体は進めやすかった。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアやグループで英語を使いながら学習をすることができなかったのは残念であった。</p>	<p>授業評価 3.7</p> <p>オンライン（リモート）授業であったが、毎週、配布したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを利用すれば、いつでも習ったユニットを何回でも復習できることが良かったと思われる。ただ、演習課題（まとめのテスト）に関しては、取り組める日時と時間（30分以内）に指定したことで、参加する学生の割合が低くなったので、もう少しゆとりのある設定をし、全員が参加できるようにしたい。</p>
---------------------------------------	---	--	--

<p>L201021 英語コミュニケーションA【S1】</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>履修者数は建築学科1年生45名であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であった。毎週、ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを送信し、学習が半分程度進むと演習課題（30分以内のテスト）を配信した。また、基礎英語を復習できるドリルサイトは、受講期間中いつでも取り組めるように計画を立て、実行した。その結果、90%以上の学生が毎週の学習やASUドリルに取り組み、演習課題と定期レポート試験をウェブ上で提出し、約80%が学生が合格した。学習の途中で、担当教員に授業Q & Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきたので、すべて丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。学生の中には、最初からオンライン授業について来られない学生がいたり、途中で学習を諦めてしまう学生がいたが、全体として真面目に取り組んが学生が多かったので、授業自体は進めやすかった。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアやグループで英語を使いながら学習をすることができなかったのは残念であった。</p>	<p>授業評価 3.7</p> <p>オンライン（リモート）授業であったが、毎週、配布したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを利用すれば、いつでも習ったユニットを何回でも復習できることが良かったと思われる。ただ、演習課題（まとめのテスト）に関しては、取り組める日時と時間（30分以内）に指定したことで、参加する学生の割合が低くなったので、もう少しゆとりのある設定をし、全員が参加できるようにしたい。</p>
-------------------------------------	---	--	--

<p>L201023 英語コミュニケーションA【S3】</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>履修者数は建築学科1年生45名であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であった。毎週、ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを送信し、学習が半分程度進むと演習課題（30分以内のテスト）を配信した。また、基礎英語を復習できるドリルサイトは、受講期間中いつでも取り組めるように計画を立て、実行した。その結果、90%以上の学生が毎週の学習やASUドリルに取り組み、演習課題と定期レポート試験をウェブ上で提出し、約80%が学生が合格した。学習の途中で、担当教員に授業Q & Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきたので、すべて丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。学生の中には、最初からオンライン授業について来られない学生がいたり、途中で学習を諦めてしまう学生がいたが、全体として真面目に取り組む学生が多かったので、授業自体は進めやすかった。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアやグループで英語を使いながら学習をすることができなかったのは残念であった。</p>	<p>授業評価 3.8</p> <p>オンライン（リモート）授業であったが、毎週、配布したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを利用すれば、いつでも習ったユニットを何回でも復習できることが良かったと思われる。ただ、演習課題（まとめのテスト）に関しては、取り組める日時と時間（30分以内）に指定したことで、参加する学生の割合が低くなったので、もう少しゆとりのある設定をし、全員が参加できるようにしたい。</p>
-------------------------------------	---	---	--

<p>L201038 英語コミュニケーションC 【A, SD】</p>	<p>日常生活のいろいろな場面において、コミュニケーション・ストラテジーを駆使しながら、英語で積極的かつ円滑にコミュニケーションをとる態度と技能を身につけることができる。</p>	<p>履修者数は造形学部（建築学科・スマートデザイン学科）2年生21名であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であった。毎週、TOEIC試験の各パートの学習項目に従って作成したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを送信し、学習が半分程度進むと演習課題（まとめの語彙テスト）を配信した。また、読解問題に挑戦できる宿題を最後に取り組めるように計画を立て、実行した。その結果、90%以上の学生が毎週の学習やドリルサイトに取り組み、演習課題と定期レポート試験をウェブ上で提出し、約85%が学生が合格した。途中、担当教員に授業Q & Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきたので、すべて丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。学生の中には、最初からオンライン授業について来られない学生や、途中で学習を諦めてしまう学生がいたが、全体として真面目に取り組んが学生が多かったので、授業自体は進めやすかった。しかし、本来の英語の授業は頻繁に音声教材を使って、実際に英語を使いながら学習をすることができなかったのは残念であった。</p>	<p>授業評価 4.1</p> <p>オンライン（リモート）授業であったが、毎週、配布したパワーポイントと復習用教材、確認用の小テストの各ファイルを利用すれば、いつでも習ったユニットを何回でも復習できることが良かったと思われる。ただ、演習課題（まとめの語彙テスト）に関しては、取り組める日時と時間に設定したので、ほぼ全員が参加できた。ただ、当初計画していた受講前と受講後でのTOEIC試験のスコアの変動（上下）を計測することができなかったことが残念であった。</p>
---	---	---	---

<p>S201005 経営の基礎Ⅰ</p>	<p>①他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>②経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>③講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p>	<p>履修者数は経営学部総合経営学科1年の留学生18名であった。ネパール人留学生が1人、ベトナム人留学生が6人、中国人留学生が11人であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であったので、毎週の学習内容に従って作成したパワーポイントなどの教材、講義ノート、および宿題の各ファイルを送信した。課題等の提出状況は、締め切り日ギリギリに提出する留学生が数名いたが、全部の課題を提出できた学生がほとんどであった。時々、直接留学生に電話を掛けて、課題の進捗状況や学生生活などについて聞くようにした。その結果、全員の留学生が毎週の学習に取り組み、課題と宿題、および定期レポート試験をウェブ上で提出し、全員の留学生がこの科目に合格した。途中、担当教員に授業Q & Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してくる学生がいたので、すべて丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。全体として真面目に取り組んが学生が多かったので、授業自体は進めやすかった。</p>	<p>授業評価 5.0</p> <p>オンライン（リモート）授業であったが、6月上旬から留学生は週に2～3度、大学に来られるようになったので、それまで慣れないオンライン授業のペースを掴むことができるようになったことは良かった。ただ、留学してすぐにオンライン授業になってしまい、留学生たちは大いに戸惑い、課題提出などに大いに苦労をしたのではないと思われる。</p>
-----------------------	---	---	---

<p>S201061 専門ゼミナールⅡ【旧カリ】</p>	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>履修者数は経営学部総合経営学科3年生7名であった。ネパール人留学生が3人、中国人留学生が3人、そして日本人学生が1人であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であったので、毎週の学習内容に従って作成したパワーポイントなどの教材、演習課題、および宿題の各ファイルを送信した。課題等の提出状況は、締め切り日前に提出する学生がほとんどであったが、最後の「定期レポート試験」を他の留学生のレポートをコピーして、まったく同じ記述のレポートを提出した留学生が2人いた。学期の間時々、直接留学生に会ったり、電話を掛けて、課題の進捗状況や学生生活などについて聞くよう努めた。その結果、5人の学生が毎週の学習に取り組み、課題と宿題、および定期レポート試験をウェブ上で提出し、この科目に合格した。しかし、前述した留学生2名は、再レポート試験でもネットのサイトからコピーをしてレポートを提出したので、不合格になったことが大変残念であった。2人の留学生はコロナ禍でアルバイトが激減したり、交通事故に遭ったりして、オンライン授業について来られなかったことが理由と思われる。</p>	<p>授業評価 4.6</p> <p>オンライン（リモート）授業であったが、6月上旬から学生は週に2～3度、大学に来られるようになったので、それまで慣れないオンライン授業のペースを掴むことができるようになったことは良かった。ただ、留学生の中にはオンライン授業の形態やペースに合わなかったようで、大いに戸惑い、課題提出などに大変苦勞をしたのではないと思われる。</p>
<p>S201092 専門ゼミナールⅣ</p>	<p>企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p>	<p>履修者数は経営学部総合経営学科4年生7名であった。ネパール人留学生が1人、ベトナム人留学生が1人、中国人留学生が4人、そして日本人学生が1人であった。前期はすべてオンライン（リモート）授業であったので、毎週の学習内容に従って教材、演習課題、および宿題の各ファイルを送信した。課題等の提出状況は、締め切り日前に提出する学生が多かった。学期の途中、時々直接留学生に電話を掛けて、課題の進捗状況や学生生活などについて聞くよう努めた。その結果、7人の学生全員が毎週の学習に取り組み、課題と宿題、および定期レポート試験をウェブ上で提出し、この科目に合格することができた。</p>	<p>0</p>

S201003 経営と情報	経営に必要な情報について理解することができる。 経営情報システムが企業の経営戦略にどうかかわってきたかを理解することができる。マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけるとともに、将来のキャリアに必要な資格を取得し、専門的スキルを活用できるようになる。	社会全体、なかんずく企業経営のデジタル化は急務。その点を重視。1年次生、しかも遠隔授業。そうした点を考慮し、Society5.0という現在旬のテーマに焦点を当てる授業形態にした。一定の効果があつたと自己評価している。評価平均点4.0。	本年度は、学部全体の授業運営の面もあり、臨時的に担当した。次年度は、新任教員による、より専門的な講義が行われると思う。その際、本年度の本講義の情報が部分的にでも参考になる点があればと思う。
S201024 経済学概論	公民分野の学校教育で必要とされる国際標準的内容の経済学を一通り学習し、基本的な知識を修得することを到達目標としている。講義では、主として国全体の経済を考えるマクロ経済学、個人や企業の行動と市場の価格メカニズムの理論であるミクロ経済学の基礎理論を学習し、基礎理論に基づいて日本経済の諸問題についての理解を深めることを目標とした。	公民、商業の教職科目ということで、教職に就く意思のあることが基本であり、受講者3名の少人数授業となった。また、知人同士でもないようであった。その結果、授業中、私語もなく、出席率はほぼ100%であった。毎回の講義資料中の空欄の答えを質問する形式の授業を行った点は、受講生の集中力を維持する上で効果があつたと思う。反省点としては、最新の経済の話題・議論を扱うことが不十分だったことである。評価平均点3.7。	2020年度からの新カリキュラムでは、本科目は、卒業認定単位に含まれる科目となったため、2019年度までの少人数授業から大規模授業科目となるため、これまでの授業方法を大きく変えることになる。大人数を前提とした授業運営に切り替えることが必要である。
S201067 専門ゼミ ナールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできるようになることを目標とする。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	経営学というよりも、一般的な判断力、推理力を身につける基礎的な方法についての演習を行った。具体的には、フェルミ推定等である。新鮮さはあつたかと思う。授業評価4.0。硬式野球部の主力メンバーが多い割には、リーグ戦中の欠席は少なかった。野球部員と一般学生との間に溝はなかったと思うが、交流が少なかったことは事実であり、指導する上での課題であることは認識している。評価平均点5.0。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。
S201067専 門ゼミナ ールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできるようになることを目標とする。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	経営学というよりも、一般的な判断力、推理力を身につける基礎的な方法についての演習を行った。具体的には、フェルミ推定等である。新鮮さはあつたかと思う。授業評価4.0。硬式野球部の主力メンバーが多い割には、リーグ戦中の欠席は少なかった。野球部員と一般学生との間に溝はなかったと思うが、交流が少なかったことは事実であり、指導する上での課題であることは認識している。評価平均点5.0。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。

S201098 専門ゼミ ナールⅣ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができることを目標とする。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	就職活動と卒論準備の両立を支援することを心がけた。卒論の意義の理解から出発する必要があり、前半はペースが遅めであった。しかし、就職先内定後は執筆の準備に取り掛かる学生が着実に増えた。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。
S201073 ケース・ス タディ	現代企業の事例分析を基に、その成功要因や失敗要因を論理的に理解することを通じて、企業や会社で実際にマネジメントできる。経営学の基本であるヒト、モノ、カネ、情報に関する知識を主体的に学ぶことを通して、企業や会社で実際にマネジメントできるための戦略・組織・管理方法について現代企業事例から学習する。	3年次までに学んできた経営学の知識を用いて、各自が主体的に企業の事例分析をし、実社会の経営業務（実務・流れ・ルール）の基本的事項を理解し、自ら行動できるようになることを目的とした。講義担当者の専門分野である企業財務の最新の事例を用いたケース分析をおこなった。実際の事例を利用した授業は、社会に出てから参考になる部分が少なくないと思う。評価平均点4.5。	ケース・スタディの醍醐味は、教員と出席者間、出席者同士のリアルタイムでの意見のやり取りであり、そこから新しい知見が得られることにある。遠隔授業であっても、zoom等を利用し、出来る限り、教室でのリアルな意見交換が行われるようにしたい。
L201057 情報リテラ シー 【再履 修】	①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	現代社会において、コンピュータは社会生活に欠かせない重要なツールとして、誰もが利用できることが望まれています。特に、ネットワークに関することやワープロ・表計算・プレゼンテーションのソフトの活用は、個人はもとより企業活動にとって必要な要件になっています。コンピュータアプリケーションソフトの活用を通して、自分で問題解決できる能力を身に付けることを目的とし、実習中心の授業を計画しましたが、コロナ禍の中、十分な授業ができなかったと、反省しています。特に、この授業は再履修クラスであり、PCを自宅に持っていない学生も多く、コロナ禍の中、最も影響を受けた授業であった。	履修者数：回答者数：回答率：GPA平均：授業評価 19 7名 36.8 2.3 3.0 統計的には、授業評価として「3.0」は十分の評価であるが、回答率等からするならば、PCの実習が中心の授業としては、今後の課題を残したと考えている。今後は、できれば、半分、もしくは1/3の学生人数での授業も試みたい。

<p>L201015 スタディスキル S3</p>	<p>①効果的にノートを取り、授業で学んだ知識を後から自分で再現できるようになる。 ②レポートやプレゼンテーション用のレジュメやスライドの構成を自ら考え、形式にのっとってそれらを作成することができる。 ③図書館やインターネットを利用して課題に関連する情報を収集し、整理することができる。</p>	<p>高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生生活を送れるように、大学生としてのスチューデント・スキルを身につけます。具体的には講義ノートのとり方、レジュメやレポート作成の方法、図書館での情報収集と活用、情報機器の使用による情報収集、さまざまな形態でのプレゼンテーションの方法、学生・教員相互に資するディベートの仕方など、大学の授業を、自分にとって意味あるものとして生かすために、基本的な学びの（学ぶための）技術であるスタディスキルも身につけます。また、地域の防災問題などの課題研究を通して、大学を取り巻く課題についても理解を深める授業を計画していました。 しかし、コロナ禍の中、十分な授業ができなかったと、反省しています。 特に、この授業は学内を探索する授業として、学生と大学の親密感を培う授業であり、大きな影響を受けた授業であった。</p>	<p>履修者数：回答者数：回答率：GPA平均：授業評価 50 29 58.0 2.9 4.1 統計的には、授業評価として「4.1」は高すぎる評価であるが、回答率等からするならば、大学内探検等の授業としては、今後の課題を残したと考えている。 今後は、できれば、半分、もしくは1/3の学生人数での授業も試みたい。</p>
<p>S201087 専門ゼミナールⅣ</p>	<p>企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p>	<p>3年次までは、現代企業がどのような管理・組織・戦略を採用しているかについて理論や事例を用いながら考察しましたが、4年次は、その成果を基にしながら卒業論文を作成できるように指導する授業として、毎回の授業で、各自の卒論進捗状況をゼミの中で発表する授業構成をしていましたが、コロナ禍の関係で、十分な授業ができなかった、と反省している。 今後は、できたら「Zoom」等の双方向授業も展開できるよう、改善を計画している。</p>	<p>履修者数：回答者数：回答率：GPA平均：授業評価 12 3 25.0 3.7 4.2 この授業も、授業評価として「4.1」は高すぎる評価であるが、回答率等からするならば、ゼミ授業で、ほとんどがオンラインでの授業となってしまう、今後の課題を残したと考えている。 今後は、社会人になった場合でも役に立つIT技術を駆使して、できれば、Zoom等の双方向授業を試みたい。</p>

<p>L201002 キャリアデザインⅠ旧カリ3学科合同</p>	<p>キャリアとは何かを理解し、現時点での自分の適性を把握し、基本的な企業観を理解することができる。</p>	<p>授業は基本講義形式で進めましたが、体験として身につけるために演習形式も多用する予定でした。 授業内において課題を行う予定でしたが、コロナ禍の中、ほとんどがオンライン遠隔授業になり、十分な指導ができなかった、と反省しています。</p>	<p>履修者数：回答者数：回答率：GPA平均：授業評価 7 1 <input checked="" type="checkbox"/> 14.3 2.6 4.0</p> <p>統計的には、授業評価として「4.0」は高すぎる評価であるが、回答者が1名であり、数値的にはあてにならないと反省している。 今後は、できれば、半分、もしくは1/3の学生人数での授業も試みたい。</p>
<p>S201037 社会学概論 【教職】</p>	<p>社会学の発想を理解し、社会調査を行うことができる。</p>	<p>社会学のメインテーマである「近代化」について学びます。遠い歴史上の出来事、あるいは遠い異国の出来事として捉えるのではなく、それらが皆さんの身の回りで起きていることと密接につながっているということを理解し、その実態を自分の目で確かめてみましょう。</p>	<p>履修者数：回答者数：回答率：GPA平均：授業評価 1 0 0.0 2.00 なし</p> <p>もともと履修者が少ない授業である、コロナ禍の中、唯一最初から「Zoom」等での双方向授業を目指したが、双方の環境が十分整備されていなく、課題が残った。今後は、そのような双方向授業のための環境も考慮しながら、双方向授業の成果をあげられるよう、授業改善に取り組む計画である。<input checked="" type="checkbox"/></p>
<p>S201007 経営の基礎 Ⅰ</p>	<p>他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p>	<p>充実した大学生活を送るためには自己責任において対処すべき事柄がたくさんあります。本講義では、周りの人と協力して、諸課題に適宜対処していく習慣を身につけます。経営学は、企業や組織の運営の仕方を研究する学問として発展してきましたが、その効果的な運営のためにはメンバー間のコミュニケーションが不可欠です。すなわち、経営学に求められる知識・スキル・経験について、正課・課外を含めた大学生活を通じて修得していきます。特に前期では、就職活動および卒業後のキャリアについても考えていきます。 以上のような授業計画で臨んだが、コロナ禍の中、十分な授業ができなかったと、反省しています。 特に、この授業は「経営の基礎を学ぶ」「経営学の初歩を手ほどきする」を目的として、学生と教員の親密感を培う授業であり、大きな影響を受けた授業であった。</p>	<p>履修者数：回答者数：回答率：GPA平均：授業評価 22 12 54.5 2.9</p> <p>4.0</p> <p>統計的には、授業評価として「4.0」は高すぎる評価であるが、回答率等からするならば、教員との親密感を培う授業としては、今後の課題を残したと考えている。 今後は、できれば、半分、もしくは1/3の学生人数での授業も試みたい。</p>

<p>U201012 地域実習 集中</p>	<p>①本学が位置する三河地域との交流を図りながら、様々な実習を通じて、課題解決の方法について理解をすることができる。</p> <p>②社会人基礎力を身につけることができる。</p> <p>③課題研究に関する学習ポートフォリオを作成することができる。</p>	<p>「三河ものづくり学」で学習した地域・産業・生活について、さまざまな角度から調査・分析・評価を学生自らが設定した課題に基づいてケーススタディとして実習を行ないます。これにより現実の課題・制度・慣習などを見据えながら提案・意見発表などによって地域・産業・社会に問いかけを行なうアウトリーチ型の実習とします。実習そのものは学部・学科を超えたグループワークによるプロジェクトチームを展開、それぞれの専門知識を特定の課題に対していかに対応するかを学びます。個々の実習内容や方法などについては、各学期の早い時期にガイダンス・説明会が実施されますので必ず内容を確認したうえで履修をしてください。</p> <p>以上のような授業計画で臨んだが、コロナ禍の中、十分な授業ができなかったと、反省しています。</p> <p>特に、この授業は「まち歩き」「まち人との交流」を目的として、学生と地域の親密感を培う授業であり、大きな影響を受けた授業であった。</p>	<p>履修者数：15 回答者数：2 回答率：13.3 GPA平均：(GPA欠) 4.4</p> <p>授業評価</p> <p>統計的には、授業評価として「4.4」は高すぎる評価であるが、回答率等からするならば、地域交流等の授業としては、今後の課題を残したと考えている。</p> <p>今後は、できれば、半分、もしくは1/3の学生人数での授業も試みたい。</p>
<p>L201016 スポーツA 【A,SD】</p>	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>0</p>	<p>0</p>

<p>L201054 スポーツA 【S】</p>	<p>達成目標 ①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索する。</p>	<p>教員2名による2種目に分かれての授業で、各種目30から40人程度であったが、対面授業が不可能なため、オンラインでの課題提出と、日々の体調管理を課題とした。 達成目標では、基礎技術の習得、ルール・戦術の理解、ゲーム運営を、実際のゲームにおいて、実践・発揮することとされており、オンラインのみの授業展開では、知識的な理解にとどまり、十分に達成できたとは言いがたい状況であった。 技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、授業回の5割程度は、感染予防に留意しながら対面授業で行うことを工夫して実施することが必要である。</p>	<p>授業評価4.00 (4.1、3.7、4.1、3.9、4.1) 回収率51.7% 授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができなかった状況を反映しているものとする。達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の対面授業は必要であるとする。状況に合わせて、対面とオンラインを併用しながら、授業展開できるように工夫していきたいと考えている。</p>
<p>S201001 スポーツ科学概論</p>	<p>達成目標 スポーツに関わる者として必要であるスポーツ科学および周辺知識を習得できる。 スポーツ科学全般に加えスポーツ振興政策と社会体育論、スポーツに関する法的知識、スポーツ心理学、スポーツ組織論についても理解できる。 対象者の年齢に合わせたスポーツ指導の方法を理解できる。 スポーツ指導者として活動するために必要とされる基礎的科目であり、各種指導者資格を取得する際のベースになる知識を取得する。</p>	<p>0</p>	<p>0</p>

<p>S201017 スポーツビジネスとマーケティング</p>	<p>スポーツビジネスへの対応を念頭においたマーケティングのあり方を理解できる。 実際に行われているマーケティング活動に対して関心を持ち、自分自身でスポーツマーケティング戦略を考えることができる。 スポーツ事業を企画・提供する基本的な内容を理解し、実践することができる。</p>	<p>経営分野の中でも、スポーツに関する内容について取り扱う科目となる。主に、ビジネスおよびマーケティングにおける基礎的な内容をスポーツに照らし合わせて内容を構成した。1年次における経営に関する基礎知識を踏まえた内容となるが、それらの理解度により、評価に差が出たと感じている。それまでの他の科目でも取り上げられた内容をスポーツ関連のもので考えることで、一般的な経営とスポーツの経営の共通する点や異なる点など、それらを理解した上で、スポーツの経営を捉えられるように工夫した。これらの点でスポーツに関する経営への理解度は、深まったと感じている。</p>	<p>授業評価3.70 (3.9、3.7、3.7、3.6、3.8) 回収率47.5% 授業方法として、全ての回がオンラインとなったことにより、履修者にとっては慣れない受講方法であったことが、評価に影響していると考えられる。授業資料や課題の内容等について、対面時と同様の内容を維持していくために、工夫していきたい。また、達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の対面授業は必要だと考える。今後は対面の回も入れることでより理解が深まるようにしていきたいと考えている。</p>
<p>S201033 専門ゼミナールⅠ (新カリ)</p>	<p>経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。</p>	<p>オンラインで、教員が用意した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルについて学習した。2週ごとにZoomによる面談を行い、課題についての説明や解説を行った。主に、読む、書く、まとめる、といった学修スキルに加え、PC等を用いたレポート作成やプレゼンテーション資料の作成を行った。レポート作成や卒論作成に繋がる基本的なスキルの学習であるが、繰り返し行うことで、個人差はあるが少しずつ向上していたと感じている。また、PCスキルについても同様に、普段からPCを利用する機会の有無により、理解度や習熟度に差はあるが、少しずつ慣れていくことができたと感じている。</p>	<p>授業評価5.00 (5.0、5.0、5.0、5.0、5.0、5.0) 回収率6.3% オンラインでのゼミナールと言うことで、解説と課題作成、Zoomなどのオンラインツールを活用することで、理解を深めることができるように工夫した。 少人数ではあるが、今回、課題の難易度については比較的平易なものを選択した。PCの所有に差があり、実際にPCを操作する機会は少なくなってしまうことが改善点である。今後は、より難易度の高い課題を取り入れながら、履修者の思考力や読解力、PCスキルの向上につなげていきたいと考えている。</p>

<p>S201038</p> <p>スポーツマネジメント</p>	<p>達成目標</p> <p>スポーツ経営の基礎理論を身につける。領域に応じたスポーツ経営の実践スキルを身につける。</p> <p>スポーツという特殊環境における経営知識の習得－経営学の－特殊領域。ビジネスパーソン（特に、スポーツ関係従事者）に必要なスキルと知識を理解する。</p>	<p>経営分野の中でも、スポーツに関する内容について取り扱う科目となる。主に、経営学の基礎的な内容をスポーツに照らし合わせ内容を構成した。1年次、2年次における経営に関する基礎知識を踏まえた内容となるが、それらの理解度により、評価に差が出たと感じている。一般的な経営とスポーツの経営には共通する点も多数あるが、それらを理解した上で、スポーツの経営を捉えられるよう、授業内容を構成した。これらの点でスポーツに関する経営への理解度は、深まったと感じている。</p>	<p>授業評価4.50（4.4、4.6、4.6、4.6、4.6） 回収率36.0%</p> <p>授業方法として、全ての回がオンラインとなったことにより、履修者にとっては慣れない受講方法であったことが、評価に影響していると考えられる。しかし、各課題については、対面時よりも考える時間を長く取ることで、記述内容は評価できる物が多かった印象である。今後も、一般的な経営に関する内容を織り交ぜ、スポーツに関する経営について、昨今の事情も踏まえつつ授業内容を構成していきたいと考えている。また、何らかの企画や運営に関する実践的な内容も取り入れていきたいと考えている。</p>
<p>S201069</p> <p>専門ゼミナールⅡ</p> <p>【旧カリ】</p>	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していく。</p>	<p>オンラインで、教員が用意した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルについて学習した。2週ごとにZoomによる面談を行い、課題についての説明や解説を行った。主に、読む、書く、まとめる、といった学修スキルに加え、PC等を用いたレポート作成やプレゼンテーション資料の作成を行った。レポート作成や卒論作成に繋がる必要なスキルについての学習であるが、繰り返し行うことで、個人差はあるが少しずつ向上していたと感じている。また、PCスキルについても同様に、普段からPCを利用する機会の有無により、理解度や習熟度に差はあるが、少しずつ慣れていくことができたと感じている。</p>	<p>授業評価0.00（0.0、0.0、0.0、0.0、0.0） 回収率0.0%</p> <p>オンラインでのゼミナールと言うことで、解説と課題作成、Zoomなどのオンラインツールを活用することで、理解を深めることができるように工夫した。</p> <p>少人数ではあるが、今回、課題の難易度については比較的平易なものを選択した。PCの所有に差があり、実際にPCを操作する機会は少なくなってしまうことが改善点である。今後は、より難易度の高い課題を取り入れながら、履修者の思考力や読解力、PCスキルの向上につなげていきたいと考えている。</p>

<p>S201076 フィットネス演習</p>	<p>達成目標 ①体力の診断と問題解決の方策を助言できる能力を身につける。②身体状況と体力的特性に応じて適切な運動プログラムを作成できる。③安全で効果的な運動プログラムの実践に必要な知識と技能を身につける。 プログラマーの実践能力を身に付け、スポーツマネジメントの現場で活躍する能力を養成する。</p>	<p>フィットネスの科学における、体力の概念やその診断、運動プログラムの作成のための基礎知識を踏まえ、演習形式を取り入れた実践的科目である。主に、各年代における運動プログラムの作成や運動指導の現場にて必要な内容を取り扱った。履修者は主に、運動指導を受ける側の立場であることから、運動指導を処方する立場として注意すべき点については、実際の指導場面を思い浮かべながら、より理解が深まったのではないかと感じている。</p>	<p>授業評価4.30 (4.4、4.5、4.3、4.2、4.0) 回収率48.3% 授業評価回答率が48%程度であり、全体の評価を反映したものと捉えられないが、回答した者については、概ねよい評価であった。 今後は、これまで主に運動指導を受ける側であった履修者が、自身または他社へ運動処方をすることを意識させ、実際の現場での話題も取り入れながら、運動を指導する立場の視点を身につけられるよう、実践的な内容をより多く取り入れていきたいと考えている。</p>
<p>S201100 専門ゼミナールⅣ</p>	<p>達成目標 体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身につける。 体育・スポーツを経営学、経済学、社会学、健康科学、医学といった様々な視点から捉え、社会における体育・スポーツの意義を考え、問題点を分析し、解決策を探求していく。</p>	<p>オンラインで、前半は卒業論文の各自のテーマに沿った資料収集と資料分析を行った。そして、収集した資料についてまとめ、発表するための資料作成を行った。後半は、収集した資料をもとに、卒業論文のアウトラインを作成し、執筆を開始した。2週ごとにZoomによる面談を行い、卒論指導や就職活動の状況確認を行った。 資料収集に苦勞する者もいたが、文献検索の方法の指導や参考資料を提供することで、資料収集のスキルはある程度身についたと思われる。しかし、収集した資料を読解し、精査することについては、もう少し時間をかけて取り組めるようにした方が良かったと感じている。また、これまでも繰り返し行ってきたプレゼンテーション資料の作成や、発表については、当初に比べ向上していると感じている。</p>	<p>授業評価0.00 (0.0、0.0、0.0、0.0、0.0) 回収率0.0% オンラインでのゼミナールと言うことで、解説と課題作成、Zoomなどのオンラインツールを活用することで、理解を深めることができるように工夫した。個別に指導する機会を多くし、卒論に関する内容説明を時間をかけて解説することができた。今後も個別指導の機会をできるだけ多くとるように心がけ、卒業論文の執筆につなげていきたいと考えている。</p>

<p>L201016 スポーツA 【A,SD】</p>	<p>達成目標 ①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p>	<p>教員2名による2種目に分かれての授業で、各種目40人程度であったが、対面授業が不可能なため、オンラインでの課題提出と、日々の体調管理を課題とした。 達成目標では、基礎技術の習得、ルール・戦術の理解、ゲーム運営を、実際のゲームにおいて、実践・発揮することとされており、オンラインだけの授業では、知識的な理解にとどまり、十分に達成できたとは言いがたい状況であった。 技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、授業回の5割程度は、対面授業で行うことを工夫して実施することが必要である。</p>	<p>授業評価4.00 (4.0、3.8、4.0、4.0、4.0) 回収率82.7% 科目GPA1.93 (F以外2.48) 2019年度の2.46に比較し、今年度は「F」の学生比率が多かったため、全体の科目GPAは低かったが、「F」以外の科目GPAは、大きな違いは見られなかった。授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができなかった状況を反映しているものと考えられる。 達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の対面授業は必要であり、工夫したい。</p>
<p>L201054 スポーツA 【S】</p>	<p>達成目標 ①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p>	<p>教員2名による2種目に分かれての授業で、各種目15人程度であったが、対面授業が不可能なため、オンラインでの課題提出と、日々の体調管理を課題とした。 達成目標では、基礎技術の習得、ルール・戦術の理解、ゲーム運営を、実際のゲームにおいて、実践・発揮することとされており、オンラインだけの授業では、知識的な理解にとどまり、十分に達成できたとは言いがたい状況であった。 技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、授業回の5割程度は、対面授業で行うことを工夫して実施することが必要である。</p>	<p>授業評価4.00 (4.1、3.7、4.1、3.9、4.1 4.0) 回収率51.7% 科目GPA2.5 2019年度の2.46に比較し、今年度、GPAは、大きな違いは見られなかった。授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができなかった状況を反映しているものと考えられる。 達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の対面授業は必要であり、工夫したい。</p>

L201055 健康・運動の科学 A,SD	<p>達成目標</p> <p>①健康に関する様々な知識・考え方を理解できる。</p> <p>②自分にあった健康処方・運動処方をデザインできる。</p>	<p>旧カリキュラムでは1年生科目であったが、新カリキュラムでは2年生科目となり、初めてオンラインでの授業となった。できる限り、授業のライブ感を出すために、スライド動画を視聴して、課題に取り組みさせる形式とした。また、使いづらいなながらも、チャットルームを開設し、授業時間中の双方向コミュニケーションに配慮した。多くの教科が、オンデマンドで、課題提出まで1週間程度設定しているため、学生にとっては、多少扱いづらい科目となったようである。</p> <p>授業によって、課題提出の時間が違うのは、ある程度は許容範囲だと考えるが、学生の生活リズムを考えた場合、授業時間を意識しないオンデマンド授業は、マイナスが大きすぎる。</p>	<p>授業評価4.2 (4.5、4.1、4.2、4.3、4.2) 回収率33.7% 科目GPA2.7</p> <p>教養科目としては、GPAと比較して、(回収率は低いが)授業評価は高い傾向にあった。達成目標と授業内容があっていたためと考える。授業時間中にフォローする体制、その時間に学生が課題と向き合うような方法を模索していきたい。</p>
L201056 健康・運動の科学 S	<p>達成目標</p> <p>①健康に関する様々な知識・考え方を理解できる。</p> <p>②自分にあった健康処方・運動処方をデザインできる。</p>	<p>旧カリキュラムでは1年生科目であったが、新カリキュラムでは2年生科目となり、初めてオンラインでの授業となった。できる限り、授業のライブ感を出すために、スライド動画を視聴して、課題に取り組みさせる形式とした。また、使いづらいなながらも、チャットルームを開設し、授業時間中の双方向コミュニケーションに配慮した。多くの教科が、オンデマンドで、課題提出まで1週間程度設定しているため、学生にとっては、多少扱いづらい科目となったようである。</p> <p>授業によって、課題提出の時間が違うのは、ある程度は許容範囲だと考えるが、学生の生活リズムを考えた場合、授業時間を意識しないオンデマンド授業は、マイナスが大きすぎる。</p>	<p>授業評価4.3 (4.5、4.0、4.2、4.3、4.4) 回収率31.4% 科目GPA2.7</p> <p>教養科目としては、GPAと比較して、(回収率は低いが)授業評価は高い傾向にあった。達成目標と授業内容があっていたためと考える。授業時間中にフォローする体制、その時間に学生が課題と向き合うような方法を模索していきたい。</p>

<p>S201001 スポーツ科学概論</p>	<p>達成目標 スポーツに関わる者として必要であるスポーツ科学および周辺知識を習得できる。 スポーツ科学全般に加えスポーツ振興政策と社会体育論、スポーツに関する法的知識、スポーツ心理学、スポーツ組織論についても理解できる。 対象者の年齢に合わせたスポーツ指導の方法を理解できる。</p>	<p>昨年、新カリキュラムとして、初めて取り組んだ科目である。概論ということで、スポーツ科学のあらゆる分野の授業を、1回、ないしは2回で、ある程度、その分野の知識、雰囲気を理解してもらうことに主眼を置いている。今年度、2年目、昨年の内容をブラッシュアップして、スライド動画作成して臨んだ。スライド動画は短めに設定したが、受講生も初めての体験であり、どの程度取り組めたのかは未知数であった。</p>	<p>授業評価4.0 (4.3、3.6、4.0、4.2、4.1) 回収率67.7% 科目GPA1.9 20%以上が「E」または「D」という状況で、トータルのGPAが低かったため、達成度が低い結果となった。課題自体は、昨年と同様で、その気になれば、ある程度の質と量を30分程度でこなせるものであったことを考えると、オンラインになれていない新入生には、取り組みづらさもあったと考える。個々の科目云々よりも、学生が授業に適応できるような技術、環境、リテラシーを高めることが、対面授業以上に必要だと考える。</p>
<p>S201010 経営の基礎Ⅰ</p>	<p>達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p>	<p>初めて担当する教科に加え、コロナ禍のオンライン授業で、ペースがつかめなかった。課題は、担当教員持ち回りで設定されたが、課題意図をつかむのにも苦労した。授業コンセプトが、旧カリキュラムの基礎ゼミナールと経営概論ということであったが、基礎ゼミナールの要素は少なくしていかないと達成目標に近づけることができないと感じた。</p>	<p>授業評価4.1 (4.2、4.1、3.9、4.1、4.2) 回収率47.8% 科目GPA2.1 新入生に、いきなりのオンライン授業での課題を与えるということ、実際の授業コンセプトと達成目標の乖離で、学生には、達成目標が実感しづらい授業だったと考える。GPAと比較して、そこそこの授業評価であった意味が不明であるが、回収率を考えれば、積極的な学生が回答したとも推測できる。次年度は、達成目標にあわせた授業内容を設定できればと考える。</p>

<p>S201018 スポーツ指導論</p>	<p>達成目標 スポーツ指導者の立場や役割を理解できる。 スポーツ指導者に必要なスポーツ科学の知識を習得できる。 スポーツ指導の過程を理解し、その実践方法を習得できる。</p>	<p>昨年度は、旧カリキュラムで前後期、スポーツ指導論ⅠⅡと分かれていたものが、今年度から、新カリキュラム、スポーツ指導論として統合された。昨年冗長な内容であった回を精選・統合し、内容の濃い科目となった。 今期は、オンライン授業として、回も絞られ、スライド動画を作成、視聴してもらう形での授業となった。 約40名の受講生のうち、4名の2年生留学生は、ほとんど課題も提出せず不合格となった。オンライン授業に対応できなかったのか、授業内容が理解できなかったのか、原因が定かではなく、対応が難しかった。</p>	<p>授業評価3.7 (3.7、3.5、3.8、3.8、3.5) 回収率33.7% 科目GPA2.7 15%が「E」「D」であったことを考えると、GPAは、それなりに高かった。回収率が低かったことも影響したかもしれないが、GPAに比べ、達成目標に対する授業評価が低い結果となった。授業内容は、達成目標に沿った内容であったことを考えると、原因を推測しづらい結果となった。 スライド動画の内容、課題設定を見直すとともに、回収率をあげる努力をしていく。</p>
<p>S201070 専門ゼミナールⅡ 【旧カリ】</p>	<p>達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>ほとんど、レポート作成の初歩が理解できないレベルの学生で、内容的には、スタディスキルの補習のようなゼミナール授業にならざるを得なかった。そのレベルの授業内容であっても、途中で投げ出したり、課題に真摯に取り組まない学生がほとんどで、達成目標に近づくゼミナール授業にはならなかった。</p>	<p>授業評価2.8 (2.7、3.0、3.0、2.7、2.7) 回収率100% 科目GPA1.0 7名中4名が不可、欠時超過で、GPAが1.0では、授業評価はむしろ高かったと考える。 達成目標が、専門ゼミナールⅡ共通のものであり、学生のレベルを鑑み、経営的な題材を用いつつも、レポート作成できることに、重点を置いたため、授業評価が低かったのは致し方なかった。 最低限、レポート作成できるレベルの学生を確保しないことには、達成目標に沿ったゼミ授業（運営）は難しいと考える。</p>
<p>S201101 専門ゼミナールⅣ</p>	<p>達成目標 体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身につける。</p>	<p>研究テーマは、2名とも、企業の経営戦略であったため、達成目標におけるテーマ設定にはなっていない。 ゼミナールの主要テーマではないが、3年編入の留学生で、スポーツ関連のテーマを設定するには無理があり、学生の状況に合わせて対応した。十分とはいえないが、後期の卒業研究に繋がるレベルまでは、到達できたと考える。</p>	<p>回答者がいないため、授業評価を確認できない。 GPA3.5という状況を見れば、2名とも、方向性は異なるが、達成目標はある程度達成できているものと考えられる。 今後も、学生のレベル、状況を鑑みながら、最低限のレベルはクリアさせていく。</p>

S201035 簿記II	<p>達成目標</p> <p>①会計専門用語や仕訳を理解することができる。</p> <p>②貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書等を作成することができる。</p> <p>株式会社における財務諸表の作成方法を修得し、マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけることを目的とします。</p>	<p>授業回のポイントを説明する動画資料を配信するとともに、理解を確認するための課題を課した。UNIPAを通じて質問してくる学生もあったが、文章の書き込みによる質問は、しにくいと感じているのではないかと思われる。</p>	<p>授業評価3.4 (3.4、3.2、3.5、3.4、3.4) 回収率52.3% 科目GPA2.9</p> <p>実際の授業ビデオを用いるなど、オンライン授業でも、対面授業に近い形でできるよう、工夫をしていきたい。</p>
S201104 非営利組織会計	<p>達成目標</p> <p>公益法人の特徴や公益法人特有の会計処理を理解し、貸借対照表・正味財産増減計算書等を作成することができる。</p> <p>非営利組織（とくに公益法人）における財務諸表の作成方法を修得し、マネジメントに必要な専門的スキルを身につけることを目的とします。</p>	<p>受講者が1名の授業だった。テキストを用いた説明と、課題を用いた授業を行ったが、なかなか理解の程度を把握することができなかった。</p>	<p>授業評価-、回収率0% 科目GPA4.0</p> <p>実際の授業ビデオを用いるなど、オンライン授業でも、対面授業に近い形でできるよう、工夫をしていきたい。</p>
L201014 スタディスキル S2	<p>達成目標</p> <p>①効果的にノートを取り、授業で学んだ知識を後から自分で再現できるようになる。</p> <p>②レポートやプレゼンテーション用のレジュメやスライドの構成を自ら考え、形式にのっとりそれらを作成することができる。</p> <p>③図書館やインターネットを利用して課題に関連する情報を収集し、整理することができる。</p> <p>大学の授業を自分にとって意味あるものとして生かすために、基本的な学びの（学ぶための）技術であるスタディスキルを身につけます。</p>	<p>教員3名によるクラス分け授業を行った。すべてオンライン授業であり、テキストや動画資料、または学生自身で集めた資料をもとに、課題について文章としてまとめてウェブ提出またはファイル提出するというスタイルをとった。対面授業であれば、学生の課題への取組中に、教員が気づいた点について指導することができるが、オンライン授業の場合には、課題提出されるまで、学生の間違い等を把握することができない。文章の書き方や、ファイル提出の仕方など、今後大学で学んでいく中で必要とされるスキルについて、十分な指導ができなかったように感じられた。また、学部での学習および社会で必要とされるプレゼンテーションについても取り組むことができなかった。</p>	<p>授業評価3.7 (3.6、3.3、3.9、3.7、3.9) 回収率50.0% 科目GPA2.4</p> <p>レポート作成や提出の作法やプレゼンテーション能力などを身につけるためには、対面授業による細かな指導が必要であると思われるが、オンライン授業でも学生の能力向上のために工夫をしていきたい。</p>

S201065 専門ゼミナールⅡ【旧カリ】	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>すべて遠隔授業で実施。企業の財務分析を行うため、データの収集とデータの加工が必要であったが、細かな指導ができず、理解に差がでたように感じられた。</p>	<p>授業評価4.1 (4.2、3.8、4.1、4.1、4.1) 回収率87.0% 科目GPA3.8</p> <p>今後も、遠隔授業を行う場合には、こまめな対応を心掛けていきたい。また、対面授業を数回に1度入れるなどして、学生の不安を取り除き、質問等への対応をしていきたい。</p>
S201096 専門ゼミナールⅣ	<p>達成目標☒</p> <p>財務会計に関するテーマ設定、テーマに沿った資料収集・文献読解、卒業論文の作成をとおして、財務会計を体系的に理解できる。</p> <p>財務会計の基本的な枠組みおよび会計特有の用語や概念を把握・理解すること、また近年の会計制度の変化の主要な流れとその背景を理解し、マネジメントに必要な専門的スキルを身につけることを目的とします。</p>	<p>すべて遠隔授業で実施。卒業論文作成のため、種々の資料収集と考察が必要であったが、うまく進められない学生もあった。学生のうち4分の3は、今年度から新しく受け入れた学生で、コミュニケーションが十分できていないうちに遠隔授業になったこともあり、細かな指導や討論ができず、進度に差がでたように感じられた。</p>	<p>授業評価4.7 (5.0、5.0、5.0、4.0、4.5) 回収率18.2% 科目GPA2.4</p> <p>今後も、遠隔授業を行う場合には、こまめな対応を心掛けていきたい。また、対面授業を数回に1度入れるなどして、学生の不安を取り除き、質問等への対応をしていきたい。</p>
S201011 経営の基礎Ⅰ	<p>達成目標</p> <p>①他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>②経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>③講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p> <p>高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスチューデント・スキルを身につけます。</p>	<p>すべて遠隔授業で実施。経営学は、日常生活と非常に密接な学問であるため、いわゆる経営学だけではなく、様々な側面からの説明を行った。また、与えられた資料、動画資料、および学生自身が収集した資料にもとづいて、与えられた課題に取組み、UNIPAを通じて提出するというスタイルをとった。遠隔授業に対して学生・教員ともに、戸惑うことが多かった。</p>	<p>授業評価4.1 (4.2、3.8、4.1、4.1、4.1) 回収率87.0% 科目GPA3.8</p> <p>今後も、遠隔授業を行う場合には、こまめな対応を心掛けていきたい。また、対面授業を数回に1度入れるなどして、学生の不安を取り除き、質問等への対応をしていきたい。</p>

S201013現代生活と会計	<p>達成目標</p> <p>①帳簿記入をする上で簿記一巡（貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ）を理解することができる。基本的な項目である現金の処理、商品売買の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。</p> <p>②企業は、お金に関する記帳をしています。これが簿記です。この簿記は、複式簿記と呼ばれ、財産やもうけを把握します。</p> <p>マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけることを目的とします。</p>	<p>授業回のポイントをまとめた資料および動画資料を配信するとともに、理解を確認するための課題を課した。UNIPAを通じて質問してくる学生もあったが、文章の書き込みによる質問は、しにくいと感じているのではないと思われる。</p>	<p>授業評価3.6（3.8、3.3、3.6、3.6、3.7）回収率62.0% 科目GPA2.2</p> <p>実際の授業ビデオを用いるなど、オンライン授業でも、対面授業に近い形でできるよう、工夫をしていきたい。</p>
L201040法学（日本国憲法）A,SD	<p>達成目標</p> <p>①日本国憲法における基本的な知識を身につけることができる。</p> <p>②法的问题に際して適切な法的思考や解釈をすることができる。</p> <p>③遭遇するであろう様々な法的局面で適切に対応することができる。</p> <p>条文や制度を理解した上で、歴史・理論・運用等の面から、憲法の意味内容を多角的、総合的及び体系的に学習し、憲法に関する様々な問題を考察する際の、基礎知識の習得を目的とします。</p>	<p>おおよそ造形学部の受講生であり、授業方法を理解していないため、それを周知徹底する必要があった。その点、遠隔授業につき、しばらくの間何度も周知していたが読まない受講生もいた。日本国憲法の暗記ではなく、考察することを目的としたが、判例の検討などが十分に理解できていなかった。日本国憲法を概観して、問題点を理解し、法的な分析方法をある程度学ぶことはできた。</p>	<p>授業評価4.4 回収率48.9% 科目GPA3.2</p> <p>遠隔授業ではあったが、授業方法には概ね満足していたようである。ただし、回収率の低さは、周知内容を把握していない可能性があり、毎回課題内容とともに受講ルールなど連絡事項をよく理解してもらう必要があった。法律の授業が初めての受講生が多く、学習方法を徹底する必要があった。そのため、対面授業や解説映像の必要性もあった。今後は適宜、小テストなどを実施し、理解度をより確認していきたい。</p>

L201041 法学（日本国憲法）S	<p>達成目標</p> <p>①日本国憲法における基本的な知識を身につけることができる。</p> <p>②法的問題に際して適切な法的思考や解釈をすることができる。</p> <p>③遭遇するであろう様々な法的局面で適切に対応することができる。</p> <p>条文や制度を理解した上で、歴史・理論・運用等の面から、憲法の意味内容を多角的、総合的及び体系的に学習し、憲法に関する様々な問題を考察する際の、基礎知識の習得を目的とします。</p>	<p>おおよそ経営学部の受講生であり、授業方法を理解しているため、比較的円滑に進めることができた。ただし、受講ルールは、遠隔授業につきしばらくの間何度も周知していたが読まない受講生もいた。日本国憲法を考察することを目的としたが、学説や判例の検討などが十分に理解できていなかった。日本国憲法を概観して、問題点を理解し、法的な分析方法を一定水準学ぶことはできた。</p>	<p>授業評価4.1（4.2、3.9、4.0、4.2、4.2） 回収率48.9% 科目GPA3.2</p> <p>遠隔授業であったが、授業方法には概ね満足していたようである。ただし、回収率の低さは、周知内容を把握していない可能性があり、毎回課題内容をよく理解してもらう必要があった。遠隔授業だけでは、内容的に幅広い分析のフォローが困難であった。扱う法律が変わるごとに、学習のポイントを把握すべく対面授業や解説映像の必要性もあった。今後は適宜、小テストなどを実施し、理解度を確認していきたい。</p>
S201016 企業法	<p>達成目標</p> <p>企業法の中核をなす民法、商法と会社法の基礎知識を活用して、企業における法的トラブルの際し、企業の仕組みや規制を踏まえて正しく行動、対処することができる。</p> <p>主に株式会社法を理解した上で、企業を取り巻く諸問題を考察し、ビジネス法全体を把握する意味で、民法における契約法とともに、経済法、労働基準法等も概観したいと思います。企業法を多角的に考察することを主眼とします。</p>	<p>遠隔授業で資料中心の授業であったため、対面授業に行っていた学習量が実現できなかった。企業を取り巻く法律をできるだけカバーする授業であったからである。学生の成績状況と授業評価から、学修到達度レベルにはある程度達したと思われる。授業の性質上、今後はさらに考察する授業に工夫を加えて、より深いレベルまで理解できるようにする必要がある。</p>	<p>授業評価3.9（4.0、3.8、3.8、3.9、4.0） 回収率50.8% 科目GPA3.2</p> <p>授業方法には概ね満足していたようである。ただし、回収率の低さは、周知内容を把握していない可能性があり、毎回課題内容をよく理解してもらう必要があった。遠隔授業だけでは、内容的に幅広い分析のフォローが困難であった。扱う法律が変わるごとに、学習のポイントを把握すべく対面授業の必要性もあった。今後は適宜、小テストなどを実施し、理解度を確認していきたい。</p>
S201031 専門ゼミナールⅠ（新カリ）	<p>達成目標</p> <p>経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。</p> <p>問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。</p> <p>経営を主体的に学習していく志向性とそのためのスキルを身に付けます。</p>	<p>メール等を利用して、授業以外にもコミュニケーションを図りながら進めることができた。授業では、法律の論点を掘り下げるために、論文の作成方法やプレゼンテーションの基本を中心におこなった。とりわけ、レポート提出の際には役立ったと考える。遠隔授業が中心であったが、資格や検定試験対策は、個々の希望に応じながら、できるだけ資料を提供して対応した。それぞれ過去問を中心とした対策は満足していたようである。</p>	<p>授業評価4.5（4.5、4.5、4.3、4.5、4.5） 回収率76.5% 科目GPA3.9</p> <p>概ね授業方法には満足してくれたようである。遠隔授業が中心となったが、課題や参考資料はある程度提供できた。しかしながら、映像の提供が十分にできなかったため、遠隔授業を行う際には、配布資料に対する解説映像は必ず行いたい。小テストや小レポートは、実施はしたものの、資料の丸写しにならないように問題設定したい。</p>

S201063 専門ゼミナールⅡ【旧カリ】	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>グループワークを中心にしながら、各種の経営的知識について自律的に学習していきます。また、地域を対象としたPBLも実施します。</p>	<p>対面授業等を利用して、授業以外にもコミュニケーションを図りながら進めることができた。比較的少ない受講生であったためである。授業では、法律の論点を掘り下げるために、質問を積極的に受け付け、論文の作成方法やプレゼンテーションの基本を中心におこなった。とりわけ、レポート提出の際には役立ったと考える。遠隔授業が中心であったが、資格や検定試験対策は、個々の希望に応じながら、できるだけ資料を提供して対応した。また、公務員試験を受験予定の学生には、できるだけ面接や論文対策を実施するようにした。</p>	<p>授業評価4.4 (4.3、4.4、4.4、4.3、4.6) 回収率100.0%</p> <p>科目GPA3.9</p> <p>概ね授業方法には満足してくれたようである。資格・検定試験、公務員試験対策は、遠隔授業では指導が困難であったが、資料を提示して対面の機会を設け、できるだけフォローした。しかしながら、時間的に不十分な部分もあり、メール等の指導も充実させていきたい。</p>
S201079 行政政策	<p>達成目標</p> <p>行政権について理解し、国や地方自治体が行う公共政策のうちこれまでの社会政策について正しく認識し、どうあるべきかを判断することができる。</p> <p>日本国憲法をはじめとして、行政法や地方自治法を参照しながら、行政における社会政策の在り方を考えます。</p>	<p>遠隔授業を中心としたが、課題提出が遅い学生が多かった。4年生対象科目ということもあり、就職活動とも両立できるように、資料の質と量には配慮していた。法律のみならず、実際の政策の分析が必要であり、幅広い視野が必要である。限りのある資料提供では限界があった。適宜、小テストなどを実施して、適宜理解度を把握する必要があった。</p>	<p>授業評価4.3 (4.3、4.0、4.3、4.3、4.3) 回収率40.7%</p> <p>科目GPA2.9</p> <p>授業は概ね満足していたようである。ただし、回収率の低さは、周知内容を把握していない可能性があり、毎回課題内容をよく理解してもらう必要があった。遠隔授業だけでは、内容的に幅広い分析のフォローが困難であった。配布資料には限界があり、対面授業の必要性もあった。適宜、小テストなどを実施したい。</p>
S201094 専門ゼミナールⅣ	<p>達成目標</p> <p>企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p> <p>様々な法的局面に対応できる知識や思考力を学びます。</p>	<p>就職活動へのアドバイスを中心に対面授業等を利用して、授業以外にもコミュニケーションを図りながら進めることができた。とりわけ公務員試験受験者には、希望に応じて補習授業を個別に設定した。卒業論文指導は適宜質問を受けつけて対応した。授業では、論文の作成方法やプレゼンテーションの基本を中心におこなった。とりわけ、卒業論文にかかわるレポート提出の際には役立ったと考える。</p>	<p>授業評価4.3 (4.4、4.2、4.1、4.4、4.5) 回収率86.7%</p> <p>科目GPA4.0</p> <p>概ね授業方法には満足してくれたようである。資格・検定試験や公務員試験対策は、遠隔授業では指導が困難であったので、4年生でもあり、できるだけ対面の機会を設け、フォローした。遠隔授業では、課題が遅れてしまう受講生もいたので、メールで励ましながらしっかり取り組んでもらうよう工夫したい。</p>

<p>S201021 経営管理論</p>	<p>経営管理論の理論的発展過程について体系的に理解できる。 管理者の仕事・役割について理解し、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報など）を活用し、管理・組織化する方法について総合的に判断できる。 経営学の基本であるヒト、モノ、カネ、情報に関する知識を主体的に学ぶことを通して、企業や会社で実際にマネジメントできるようになるための管理者の仕事・役割について学習する。</p>	<p>昨年度までは経営管理論Ⅰ・Ⅱと分かれていたが、今年度からはⅡの内容が削られたため内容的には手薄気味になってしまったことは否めない。加えてコロナ渦の影響をまろに受けてしまい、12回に短縮かつ全授業の遠隔授業化を余儀なくされたことで、ビデオ学習が不可能になってしまい、またパワーポイントの画面を眺めるだけの味気ない内容になってしまったので、授業の進め方自体が不本意なものとなったと言わざるを得ない。この受講学年に対しては十分な教育が出来なかったという苦い思いが残る。</p>	<p>授業評価4.0（4.2、3.9、3.9、4.1、4.1） 回答率35.2% 科目GPA2.1 回答率が履修者数に比べてかなり低く、それ故数値自体は比較的高めに出ているものの余り参考になるデータとは感じられなかった。GPA値は余り高いとは言えず、教育効果においてはやはり危惧した通りになってしまったと判断している。後期授業においてはパワーポイント資料に音声解説を付けるといった工夫をしているが、来年度も遠隔授業を強いられるようであれば同様の工夫を考えたい。なお来年度は昨年度のⅡの内容も一部盛り込む予定。</p>
<p>S201022 経営管理論</p>	<p>経営管理論の理論的発展過程について体系的に理解できる。 管理者の仕事・役割について理解し、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報など）を活用し、管理・組織化する方法について総合的に判断できる。 経営学の基本であるヒト、モノ、カネ、情報に関する知識を主体的に学ぶことを通して、企業や会社で実際にマネジメントできるようになるための管理者の仕事・役割について学習する。</p>	<p>昨年度までは経営管理論Ⅰ・Ⅱと分かれていたが、今年度からはⅡの内容が削られたため内容的には手薄気味になってしまったことは否めない。加えてコロナ渦の影響をまろに受けてしまい、12回に短縮かつ全授業の遠隔授業化を余儀なくされたことで、ビデオ学習が不可能になってしまい、またパワーポイントの画面を眺めるだけの味気ない内容になってしまったので、授業の進め方自体が不本意なものとなったと言わざるを得ない。この受講学年に対しては十分な教育が出来なかったという苦い思いが残る。</p>	<p>授業評価3.8（3.9、3.6、3.8、3.7、3.8） 回答率60.3% 科目GPA2.1 回答率が水曜日クラスに比べれば多いため、こちらの方がより参考になるデータと思われる。今年度の授業内容からすると妥当な結果か。GPA値は余り高いとは言えず、教育効果においてはやはり危惧した通りになってしまったと判断している。後期授業においてはパワーポイント資料に音声解説を付けるといった工夫をしているが、来年度も遠隔授業を強いられるようであれば同様の工夫を考えたい。なお来年度は昨年度のⅡの内容も一部盛り込む予定。</p>

<p>S201025 専門ゼミナールⅠ【新カリ】</p>	<p>経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。 総合経営学科の専門教育を履修していく自立的学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てます。</p>	<p>今年度はゼミのメンバーがほとんどが留学生で、日頃のコミュニケーションが例年以上に重要と考えていたが、コロナ渦の影響で授業期間短縮かつ遠隔授業化を余儀なくされたことで、親睦を深めることが難しかった。更にゼミ生の中には母国から日本に戻れない者すらいたので、UNIPAの提出と、ZOOMを利用したプレゼンテーション時しか接点が取れなかったのもどかしかった。</p>	<p>授業評価4.5 (4.4、4.4、4.6、4.4、4.6) 回答率93.8% 科目GPA2.6 数値的には評価高めであるが、留学生はゼミにおいては元々高めに評価する傾向があるので額面通り受け取るには問題もありそう。GPA2.6という数値は評価値に比べて低めで、ゼミ生の日本語能力の問題もあるが、やはり直に指導出来なかった弊害もあると考えられる。来年度はゼミ生のメンバー構成がどうなるかにもよるが、プレゼンテーション自体には一定の効果があったとも考えられるので回数を増やすことも検討したい。</p>
<p>S201044 経営哲学特講Ⅰ</p>	<p>現役経営者の講義から、将来自分が経営者・管理者に就任した時に必要な経営実践のヒントを学び取ることができるようになる。講義の内容を理解し、講義内容の要点を授業時間内課題に的確にまとめられることができるようになる。実社会で活躍される現役経営者のお話から、経営という仕事にはどのようなことが求められるのかを学び取り、自らのビジネスパーソンとしての教養及び経営実践能力の向上に反映させることを目的とします。</p>	<p>コロナ渦の影響で、例年とは大幅な変更を余儀なくされたのはどの科目も同様であるが、本科目は特に変更の度合いが激しくなってしまった。元々経営者を招いて対面形式で講義を行う方式だけに、特別講師と履修者双方の感染リスクが只でさえ高まることが避けられないことから、事前のビデオ収録→UNIPA配信に変更を余儀なくされた。更に特別講師としての経営者の方々は「大勢の学生の前で語る」ことに拘る方が多く、当初予定6名のうち4名の方が後期担当に延期を希望し、その希望を結局受け入れざるを得なかった。空いた分は過去講義のビデオをUNIPA配信することで何とか対処出来たものの、本講義の醍醐味であるライブ感が大きく損なわれてしまった。あの感覚を今年度の履修学生に味合わせることが出来なかったことは痛恨の極みというのが率直な気持ちである。</p>	<p>授業評価4.2 (4.3、4.2、4.2、4.3、4.1) 回答率41.7% 科目GPA2.4 授業評価の数値自体は高めであるが、回答者数が履修者数の半数以下のため余り参考になるデータとは考えていない。他方でGPAは2.4と余り高くは無いが、例年も留学生中心に苦手とする履修学生は多いので、遠隔授業になって却って助かった者もいたかもしれない(動画は繰り返し再生出来るので)。逆に課題を前々出してこなかった学生も少なからず見られ、遠隔授業について向き不向きの明暗が分かれた格好となった。ともあれ、危機管理面で来年度以降様々な改善の余地があると感じさせられた。</p>

S201064 専門ゼミナールⅡ【旧カリ】	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>この科目も新しいメンバーで出発早々にコロナ渦に見舞われたことで、日本人学生も含め東海エリアに帰ってこれなくなったゼミ生が出てしまい、コミュニケーション面ではハンディを背負う形になってしまった。反面プレゼンテーションをメインにした構成に変更したことで、ゼミ生一人一人に自分で色々調べなくてはという意識は例年よりは強くなったかもしれない。プレゼンはZOOMを利用して実施したが、修了したゼミ生は早々と抜ける者が多く、その点はやはり対面ゼミに比べると欠点と言わざるを得ない。</p>	<p>授業評価4.6 (4.5、4.6、4.5、4.6、4.6) 回答率72.7% 科目GPA2.8</p> <p>何故か総合経営学科の科目のうち最優秀表彰を受けてしまったが、例年よりも留学生が多かったからであろうか。一人ものすごく真面目に取り組むゼミ生がいるので、気を抜けないとは思っていた。ただGPA数値は評価ほどには上がっておらず、果たして対面方式ゼミだったらどうなっていたかとも考えてしまう。プレゼン方式が例年より増えたことはプラスになったようなので、来年度以降も続けていこうというのが現時点での考えである。</p>
S201078 環境マネジメント論	<p>企業を取り巻く様々な経営環境に対応するべく、企業に求められるCSR基準を理解することにより、ビジネスにおける環境対応能力を養い向上させることを目標とする。</p> <p>本講義では経営環境に如何に対応していくべきなのか、具体的な基準を中心に学んでいくことで、ビジネスパーソンに必要な環境への対応能力を養うことを目的とします。</p>	<p>元々がCSRの基準の話がメインの科目なので、これまでの学年の科目よりは高度かつ単調なきらいがあり、学生に面白く理解してもらうためにはハードルが高かったが、コロナ渦の影響で授業自体が短縮かつ遠隔授業化となり、一層その傾向が強まってしまったのではと感じる。学生にとって、パワーポイント資料の画面を眺めてまとめるだけに留まってしまったのは反省点である。</p>	<p>授業評価4.2 (4.3、4.0、4.3、4.1、4.2) 回答率27.3% 科目GPA1.9</p> <p>評価値自体は高めであるが、真面目に回答した履修者のみの回答と考えられ、実際に回答しなかった大多数を含めるとGPA数値1.9というのが現実を表していると考えられる。後期科目で実施している、パワーポイント資料に音声解説を入れる試みを取り入れればある程度は不備を補えたのではと考えられるので、来年度も遠隔授業を余儀なくされる場合は是非とも取り入れてみたい。</p>
S201095 専門ゼミナールⅣ	<p>C S R 関係の問題に関連したテーマを自ら制定し、そのテーマを調査・研究し説明していく。それによって社会に真摯に仕える能力を身につけることができるようになる。</p> <p>CSR関連の学習の成果として、CSRや「企業と社会」絡みの分野の範囲内で各自卒論テーマを制定し、卒論作成への準備を進めることを目的とします。そして社会に真摯に仕える能力を身につけてもらいます。</p>	<p>4年ゼミは前期から卒論作成を意識した指導となるが、今年は取り分けコロナ渦の影響をもろに受けしまい、ゼミ生の取り組み具合に差が著しく出てしまった。全般的にも進捗状況が遅くなり、ZOOM利用の報告会を何度か開いたものの、大して好転しないままであった。卒論指導は特に対面指導が重要と感じさせられたが、遠隔方式でも効果的な手法を考えなければと痛感させられた。</p>	<p>授業評価4.0 (4.1、3.6、3.9、4.0、4.1) 回答率80.0% 科目GPA2.3</p> <p>数値自体はトータルでは標準的となったが、達成目標の数値がやや低めに出た点は気になる。やはりコロナ渦の影響で例年のように直接的な卒論指導がままならず、自主的に取り組むゼミ生とそうでないゼミ生との格差が著しく開いてしまった結果といえよう。また参考書を購入しようという動機が今年のゼミ生の間では特に働かず、来年度以降はもっと強制的に参考書を読ませる仕組みを考えなければという思いである。</p>

U201005 地域クリエイション基礎 (高大連携)	<p>①三河地域に関する伝統的なものづくり産業と現在の最先端技術の繋がりについて理解することができる。</p> <p>②三河地域の伝統的なものづくりとのその構造変化について理解することができる。</p> <p>本大学がものづくりを通して地域と密着していることを理解し、自分が地域に何で貢献できるかを探り入学後に本学を通じて実現することを目標とします。地元三河地方について学習・理解することを目的とします。</p>	コロナ渦のため高大連携授業としての本講義は中止となった。	中止のため数値無し。ノウハウを忘れないことが大事と思われる。
S201043 経営組織論	<p>組織と人との関係を通して企業の経営活動を理解することにより、人と組織をマネジメントすることができる。</p> <p>組織と人との関係を考察することを通して組織マネジメントに必要な知識を習得することができる。</p>	組織理論について、組織と人との関係についての考察を中心に実施した。オンライン授業のため理論とともに組織の中の人間行動について、いま何が起き何が問題となっているのかなど身近な問題を提供しつつ実施した。学生たちも身近に感じてくれたようであり、課題等への回答も興味深いものが多かった。	授業評価4.3 (4.4、4.3、4.4、4.3、4.4) 回収率42.6% 科目GPA2.3 後期は2年次科目となる。パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題の組み合わせを今一度検討し、3年次以降の専門科目との橋渡しの役割を果たすことができるよう努力したい。
S201052 人的資源管理論	<p>経営資源としての人々がどのように活用されるのかを理解し人に関するマネジメントをすることができる。</p> <p>企業や組織における人の活用について考察することを通して人材マネジメントに必要な知識を習得することができる。</p>	人的資源管理について、企業や組織における人の育成と活用についての考察を中心に実施した。オンライン授業のため理論とともに人の活用と育成について、いま何が起き何が問題となっているのかなど身近な問題を提供しつつ実施した。学生たちも身近に感じてくれたようであり、課題等への回答も興味深いものが多かった。	授業評価4.3 (4.2、4.3、4.3、4.3、4.3) 回収率40.9% 科目GPA2.6 カリキュラム改定に伴い、次年度以降開講せず。
S201051 情報管理論	<p>企業の情報管理に関する知識を習得し組織マネジメントに活用することができる。</p> <p>組織コミュニケーションや多様なマネジメントなどを学習することを通して企業経営における情報マネジメントの重要性について理解を深めることができる。</p>	組織における情報マネジメントの重要性についての考察を中心に実施した。オンライン授業のため理論とともに企業の中でいま何が起き何が問題となっているのかなど身近な問題を提供しつつ実施した。学生たちも身近に感じてくれたようであり、課題等への回答も興味深いものが多かった。	授業評価4.3 (4.4、4.4、4.3、4.3、4.3) 回収率41.9% 科目GPA2.4 カリキュラム改定に伴い、次年度以降開講せず。
S201039 ファイナンシャル・プランニングⅠ	多様な働き方や生き方に対応したライフプランニングの知識や手法を理解し活用することができる。自らのライフプランに応じた最適な選択を行うために必要な知識を習得し活用することができる。	ライフプランニング、社会保険や公的年金、税金の分野を中心に実施した。オンライン授業のため関係する知識の習得とともに社会でいま何が起き何が問題となっているのかなど身近な問題を提供しつつ実施した。学生たちも身近に感じてくれたようであり、課題等への回答も興味深いものが多かった。	授業評価4.2 (4.3、4.2、4.2、4.2、4.3) 回収率43.3% 科目GPA2.4 カリキュラム改定に伴い、次年度以降開講せず。

S201029専門ゼミナールⅠ（新カリ）	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	ゼミ課題である「これからの企業はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどのように働き、生きていくのか」といった問題について、その考え方の基本をファイナンシャルプランナーをゲストに招き、実施した。オンライン授業ではあったが、ゲストの協力もあり、課題は概ね達成できたと思う。	授業評価4.3 (4.3、4.3、4.3、4.3、4.3) 回収率17.6% 科目GPA3.4 今年度のテーマを継続したい。ワークやプレゼンの機会が少なかったため、次年度は、それらの機会をできる限り多くしたい。
S201060専門ゼミナールⅡ【旧カリ】	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	ゼミの課題である「これからの企業や組織はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどのように働き、生きていくのか」といった問題について、各自興味のあるテーマについて著書を選択させ、卒業論文にどのように発展させるかを考えさせた。課題は概ね達成できたと思う。	授業評価5.0 (5.0、5.0、5.0、5.0、5.0) 回収率25.0% 科目GPA3.4 オンラインであったため、プレゼン回数の確保が難しかった。プレゼン、ディスカッションの回数確保を図りたい。また、ワークやプレゼン方法を検討することにより、多様な働き方や生き方に対応したより実践的な内容としたい。
S201091専門ゼミナールⅣ	これからのキャリア（自分らしい働き方・生き方）について、企業と人との関係、人材マネジメント、社会保障制度などから総合的にデザインすることができる。	卒業論文作成のための資料収集、概要作成を中心に実施した。これからのキャリア（自分らしい働き方・生き方）についての意識も高まり、課題は概ね達成できたと思う。	回答者なし 科目GPA4.0 オンラインであったため、プレゼン回数の確保が難しかった。プレゼン、ディスカッションの回数確保を図りたい。また、ワークやプレゼン方法を検討することにより、多様な働き方や生き方に対応したより実践的な内容としたい。
S201053税務会計論	☑ ☑ 税の仕組みを理解し、社会に出て役立つ基本的な税について理解できる 税務会計の概要を理解することにより、社会に出て役立つ基本的な税について理解し、マネジメントに必要な専門的スキルも身につけることを目的とします。	東海税理士会による税務会計論として開講した。遠隔授業であったため、zoomによる授業と授業を録画してユーチューブに配信した授業、また、資料配信としてパワーポイントを解説動画をつけてユーチューブ配信した授業を15回実施した。学生からは、聞き逃した内容も動画にて確認できたため、良い勉強になったという報告は受けた。 今後も同様に、聞き逃した学生でも確認できるように動画も併用していきたい。	(履修者数)60☑(回答者数)19名回答率31.7 (%) (4.3 3.8 ☑) 4.2 4.2)4.1GPA平均3.4 学生の自己評価による学修到達度レベルと成績評価による学修到達度レベルに乖離が見られる。授業課題の未提出者が多かったため、この点を見直す必要がある。

S201062専門ゼミナールⅡ【旧カリ】	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	授業の性格上、個別指導で実施した。 遠隔授業の影響もあり、資料配信による会計分野の事例をレポートにするとともに、他の学生に対して説明できる力ができるように指導を行った。	(履修者数)4名(回答者数)1名回答率25.0 (%) (4.04.04.04.04.0)4.0GPA平均4 遠隔授業の影響もあり、資料配信による会計分野の事例をレポート提出させたが時間がかかった。指導方法を検討する必要がある。
S201093専門ゼミナールⅣ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。 財務会計に関する会計基準や会計の役割、業績評価を理解し、マネジメントに必要な専門的スキルの活用を目的とします。	授業の性格上、個別指導で実施した。 全体的には、テーマ設定に時間をかけるとともに、それをレポートにするとともに、他者に対して説明できる能力の育成に重点を置いて指導を行った。	(履修者数)5名(回答者数)2名回答率40.0 (%) (4.04.54.54.54.5)4.4GPA平均3.6 遠隔授業の影響もあり、研究テーマの選定に時間がかかった。指導方法を検討する必要がある。
S201014現代生活と会計 再履修	帳簿記入をする上で簿記一巡（貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ）を理解することができる。 基本的な項目である現金の処理、商品売買の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。 企業は、お金に関する記帳をしています。これが簿記です。この簿記は、複式簿記と呼ばれ、財産やもうけを把握します。マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけることを目的とします。	遠隔授業であったが、途中から8回希望者に対して補講を実施した。また、他の学生に対しては、ユーチューブによる動画を配信した。さらにパワーポイントに解説をいれて動画として配信も行った。UNIPAのバージョンアップで学生が対応できなかった学生も多くいたので、補講に来た学生には操作方法も教えた。動画を配信することで復習ができると好評であった。	(履修者数)108名(回答者数)46名回答率42.6 (%) (3.93.83.73.83.7)3.8GPA平均3.1 学生の自己評価による学修到達度レベルと成績評価による学修到達度レベルに乖離が見られる。授業課題の未提出者が多かったので、見直す必要がある。
S201030専門ゼミナールⅠ（新カリ）	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。 総合経営学科の専門教育を履修していく自立的学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てます。この関心や興味が履修モデルによる学習計画に反映され、総合経営学科の様々な分野の中から、自らの能力や適正にあった学習志向を見定めるよう支援します。	授業の性格上、個別指導で実施した。 遠隔授業の影響もあり、資料配信による会計分野の事例をレポートにするとともに、他の学生に対して説明できる力ができるように指導を行った。	(履修者数)17名(回答者数)3名回答率17.6 (%) (4.74.74.74.75.0)4.7GPA平均 3 9 遠隔授業の影響もあり、資料配信による会計分野の事例をレポート提出させたが時間がかかった。指導方法を検討する必要がある。

S201012現代生活と会計	<p>帳簿記入をする上で簿記一巡（貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ）を理解することができる。</p> <p>基本的な項目である現金の処理、商品売買の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。</p> <p>企業は、お金に関する記帳をしています。これが簿記です。この簿記は、複式簿記と呼ばれ、財産やもうけを把握します。マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけることを目的とします。</p>	<p>遠隔授業であったが、途中から8回希望者に対して補講を実施した。また、他の学生に対しては、ユーチューブによる動画を配信した。さらにパワーポイントに解説をいれて動画として配信も行った。動画を配信することで復習ができると好評であった。</p>	<p>(履修者数)73名(回答者数)38名回答率52.1 (%) (3.5 3.9 3.74.0)3.8 GPA平均3.1</p> <p>UNIPAの対応について当初、学生が対応できなかったため、補講に来た学生には操作方法も教えた。動画を配信することで復習ができると好評であった。</p>
S201034地域産業論	<p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>いわゆる地場産業の姿について理解することができる。</p> <p>地場産業の実践例を通じて、地域の産業振興に必要なことを理解することができる。</p> <p>他地域の地域産業の振興策を学ぶことを目的とする。</p>	<p>テキストと資料配信による授業を実施した。地場産業の良いところを知り、母国の良いところを再考させることを念頭に置いた。</p>	<p>(履修者数)11名(回答者数)6名回答率54.5 (%)</p> <p>(4.33.83.53.83.8)3.9GPA平均3.3</p> <p>留学生向けの授業だったため、輪読も含めて対面で実施する授業を行っていきたい。</p>
S201049財務分析	<p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>経営比率分析の手法と意味・意義を理解し、企業の財務状況の判断ができる。</p> <p>企業経営の診断の基礎を学習し、マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけることを目的とします。</p>	<p>遠隔授業であったが、途中から5回希望者に対して補講を実施した。また、他の学生に対しては、資料配信とユーチューブによる動画を配信した。さらにパワーポイントに解説をいれて動画として配信も行った。動画を配信することで復習ができると好評であった。</p>	<p>(履修者数)12名(回答者数)6名回答率50.0 (%)</p> <p>(3.53.84.04.33.8)3.9GPA平均2.3</p> <p>学生の自己評価による学修到達度レベルと成績評価による学修到達度レベルに乖離が見られる。授業課題の未提出者や定期試験の未提出者が多かったので見直す必要がある。</p>
L201001基礎ゼミナールⅠ旧カリ3学科合同	<p>①大学生生活のさまざまな事例を理解し、自らの責任においてそれらに対処することができる。</p> <p>②キャンパスでともに過ごす仲間とのコミュニケーションを通して対処することができる。</p> <p>③学習ポートフォリオを作成することができる。</p> <p>「自然・社会・文化に関する基本的知識を習得するとともに、それらをより広く、深く修得する向上心・探求心と、知識を適切に活用できる能力を身につけていること」というデザイン学科の学位授与の方針に即して、自ら主体的に学習していくための基本的技術や取り組み方を学習します。</p>	<p>様々な文章を読み、その文章の要旨やその文章から学んだことを、指定された字数でまとめる授業を行った。要旨という言葉をもとの文章からいくつか文を取り出し並べたものと理解している受講生が多かった。授業の最初に、要旨とはどのようなものを十分説明する必要性を感じた。</p>	<p>授業評価 回答者0名</p> <p>授業の最初に要旨とはどのようなものかを説明する。また、受講生に提示する文章を多様にすることを検討したい。</p>

L201006 数学と社会 A	<p>①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。</p> <p>③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>インターネットを使って情報を送受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明した。令和2年度前期は、新型コロナウイルスのため、多くの人がこれまで以上にインターネットを経由した情報の送受信の必要に迫られた。このような状況で、インターネットを経由した情報の送受信の安全性が失われると社会にどのような影響があるのか、現在の暗号を無力化する量子コンピュータの開発状況などを問う課題を出題した。社会に対する関心の高低に応じて課題の出来不出来が別れたように感じた。</p>	<p>授業評価3.70 回収率60.0%</p> <p>次年度は、量子コンピュータおよび量子コンピュータを成り立たせる原理である量子力学についても触れたいと思う。</p>
L201007 数学と社会 SD	<p>①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。</p> <p>③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>インターネットを使って情報を送受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明した。令和2年度前期は、新型コロナウイルスのため、多くの人がこれまで以上にインターネットを経由した情報の送受信の必要に迫られた。このような状況で、インターネットを経由した情報の送受信の安全性が失われると社会にどのような影響があるのか、現在の暗号を無力化する量子コンピュータの開発状況などを問う課題を出題した。社会に対する関心の高低に応じて課題の出来不出来が別れたように感じた。</p>	<p>授業評価3.70 回収率67.7%</p> <p>次年度は、量子コンピュータおよび量子コンピュータを成り立たせる原理である量子力学についても触れたいと思う。</p>
L201008 数学と社会 S	<p>①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。</p> <p>③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>インターネットを使って情報を送受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明した。令和2年度前期は、新型コロナウイルスのため、多くの人がこれまで以上にインターネットを経由した情報の送受信の必要に迫られた。このような状況で、インターネットを経由した情報の送受信の安全性が失われると社会にどのような影響があるのか、現在の暗号を無力化する量子コンピュータの開発状況などを問う課題を出題した。社会に対する関心の高低に応じて課題の出来不出来が別れたように感じた。</p>	<p>授業評価3.80 回収率54.3%</p> <p>次年度は、量子コンピュータおよび量子コンピュータを成り立たせる原理である量子力学についても触れたいと思う。</p>

S201006 経営の基礎 I	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。「現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力」とはどのような能力なのか、その能力はどのようにして身に付けるのかを学ぶ科目です。	大学生入門および経営学への入門を目的にした授業である。このため、高校生と大学生の違いや経営学とは何を学ぶ学問なのかを考えさせる問いに指定された字数で解答する形式の課題を課した。個人的な経験を解答内容に反映させやすい課題には、多様な解答が提出されるが、そうでない課題に対しては類似の解答が多く提出される傾向があった。	授業評価4.00 回収率53.8% 次年度の課題を決定する際には、受講生自身の経験に基づいて解答できる課題を増やす方向で考えたい。
S201055 専門ゼミ ナールII 【旧カリ】	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していきます。	身の回りの課題を解く際に利用できる数学的手法、具体的には線形計画法、ゲーム理論、PERT、に関する授業を行った。線形計画法、ゲーム理論、PERTの各手法についての説明を行った後、問題演習を行った。線形計画法、ゲーム理論については、十分理解が得られたようであるが、PERTについては必ずしも理解が十分でなかったように感じた。	授業評価4.40 回収率45.5% PERTに代わる課題解決に利用できる数学的手法を探したいと思う。PERTに代わる手法が見つからない場合には、PERTの説明により多くの時間を充てたい。
S201086 専門ゼミ ナールIV	論理的な思考ができるようになる。数学的に問題を解決することができる。数学の学習を通して、ビジネスパーソンとして要求される、総合的判断力を向上させます。	卒業研究を行う際に利用できる仮説検定の手法について例題を用いて説明した。そして、受講生自身に仮説検定を利用して解くことができる問題を作ってもらい、さらにその問題を解いてもらった。仮説検定を利用して解くことができる問題はどのような構造の問題であるのかについての説明が不十分であったため、受講生が作った問題の多くが例題を少し変えただけのものであった。	授業評価5.00 回収率14.3% 次年度は、仮説検定を利用して解くことができる問題の構造について十分説明を行いたい。
歴史学	授業の目標は、歴史学の研究を通して、自分の属する世界を、自分一人の体験できる範囲を越えて、歴史的な時間と空間の中に自分位置づけることができるとともに、自分の関心のある歴史的な出来事について理解し、解釈し、記述できるようになることを目指します。教育効果としては、歴史的な出来事ばかりか、広く社会事象に関心を持ち、分析・整理し、自己の意見を発表できることを期待します。	履修者130名の他人数の授業で、すべてオンライン授業で受講生一人ひとりに対応したフィードバックがあまりできなかったのが課題である。オンデマンドの教材であり一方的な知識を教え込む形の授業になり、学生の興味や関心に沿った授業がオンライン授業では難しいことを痛感した。	授業評価3.90 (4.0、3.8、4.0、3.9、3.9) 回収率35.4% 科目GPA2.4 授業評価の低かった学生の達成目標の到達を実現できる手立てとして、授業課題、授業外課題を工夫して、受講生徒が主体的に学習する方策を今後考えていきたい。

教育行政	現代の学校教育に関する社会的、制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的な知識も身に付ける。また、文部科学省・教育委員会等の教育行政機関の役割について理解でき、一般行政と教育行政との関わりについて理解する。	今日の教育制度や教育施策について、授業においてはできるだけ具体的な問題を取りあげながら考察させたが、すべてオンライン授業のため、教育行政に対する基礎的な知識と幅広い視野にかける学生も多く表面的な理解に終わった学生も多く、前提となる基礎知識を学生にいかん身に付けさせるかの点で課題があった。	授業評価4.3 (4.3、4.3、4.3、4.3、4.3) 回収率25% 科目GPA3.4 オンライン授業においても、教育行政の内容を実際の学校運営や教師の職務に関連付けを理解し説明することができるような事例研究を今まで以上に設定し、レポート提出や発表の場面を取り入れていく。
事前・事後指導	教師としてふるまい、学習指導案の作成と生徒の前で授業が出来る指導と実践ができる。実習生は学ぶ生徒である立場と教える先生の立場とを兼ね備えるという視点から、この二つの立場の本質を理解することを重点にします。外部の学校での実習に臨むために、本校の学生としてふさわしい態度、言葉づかい、あいさつ等一般社会での常識を習得し、人間性を磨くことを含めて行います。	新型コロナ感染の影響で教育実習が6月から10月までの時期に行われ、学生の教育実習に対する不安もあったが、学生は欠席もなく前向きに取り組み、学習指導案の作成、担任としての業務の把握なども高いレベルで実施でき、学生もある程度の自信をもって教育実習の取り組みことができました。また、実習中の流れと心得を実務、実践レベルでまとめたパワーポイントの教材は学生に好評であった。	授業評価3.9 (4.3、3.7、3.7、4.0、3.7) 回収率13.8% 通年科目でGPA記載せず。 授業評価にみられるように、学生が達成目標や成果が得られないことから、実際の学校現場で授業、担任業務に対応できる実践的な学習課題の工夫やオンラインでの模擬授業の実施などを考えていきたい。
公民科教育法Ⅱ	授業の目標としては、学習指導要領に示された公民科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計や学習評価、授業改善を行う方法を身に付ける。教育効果としては、学習指導案の作成や模擬授業および教材作成などにより指導分野の理解を深め、学校現場で通用する指導力、実践力の育成を目指す。	オンライン教材を用意したが、履修者1名のみで、1度も受講しなかったため、自己評価は記載しません。	授業評価3.0 (3.0、3.0、3.0、3.0、3.0) 回収率100% 履修登録者1名、授業には1度も出席せず、この授業の授業改善・対応方法はあります。
職業指導	授業の目標としては、学校・企業現場における職業指導教育業務に、誇りと自信をもって生徒を指導できるキャリア能力を身につける。教育効果としては、現在及びこれからの職業指導に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、実際の教育現場で、担任指導、進路指導できる能力や資質の向上を目指す。	履修者2名でオンライン授業においても受講者へのフィードバックも十分でき、様々な事例について指導することができた反面、職業指導についての基礎的な技能や知識を定着することが不十分とところもあり学習課題や授業外課題の工夫を図りたい。	授業評価4.0 (4.0、4.0、4.0、4.0、4.0) 回収率50% 科目GPA3.0 職業指導という実践的な授業で、オンライン授業での限界を感じた、zoomでの事例指導の場を今後設定していきたい。

教育実習Ⅰ	授業の目標としては、実習校で、教科指導、生徒指導を中心に実践的な能力の育成を図る。教育効果としては、学校現場において、教科の知識、指導技能、面談技能など実際の教育現場で対応できるようになることを目指します。	この科目、すべて教育実習校で行われる授業であることから、大学の担当教員としての自己評価はないが、教育実習中の巡回指導において学生との面談や指導教諭との連携はできた。	授業評価4.0 (4.0、4.0、4.0、4.0、4.0) 回収率18.2% 通年科目であることからGPAを記載せず。 教育実習に対する事前・事後指導において、現在の教育現場に即した実践的な指導の場面を取り入れた工夫を図っていきたい。
教育実習Ⅱ	授業の目標としては、実習校で、教科指導、生徒指導を中心に実践的な能力の育成を図る。教育効果としては、学校現場において、教科の知識、指導技能、面談技能など実際の教育現場で対応できるようになることを目指します。	この科目、すべて教育実習校で行われる授業であることから、大学の担当教員としての自己評価はないが、教育実習中の巡回指導において学生との面談や指導教諭との連携はできた。	授業評価4.0 (4.0、4.0、4.0、4.0、4.0) 回収率11.1% 通年科目であることからGPA記載なし。 教育実習に対する事前・事後指導において、現在の教育現場に即した実践的な指導の場面を取り入れた工夫を図っていきたい。
S201019 マーケティング論	達成目標 マーケティングの基礎理論について理解することができる。 授業で学んだキーワードを活用して、企業のマーケティング戦略が分析できるようになる。 自分自身でマーケティング戦略が立案できる	事例と理論を組み合わせ、日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明して理解を促した。 遠隔授業であったが、極力具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。授業を通して身に着けたマーケティング・センスによって、実践的な顧客志向の判断ができるようになったと考える。	総平均授業評価4.2 新カリキュラムに移行して必修科目となった。 対面授業となった場合は、商品の現物の提示や動画を取り入れ、テーマに対する関心を高めていきたい。
S201045 広告論【開放】	達成目標 広告の基礎理論について理解できる。 専門用語について説明でき、授業で学んだキーワードを活用して、企業の広告戦略が分析できるようになる。 自分自身で簡単な広告戦略が立案できるようになる。	事例と理論を組み合わせ、日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明すると共に、マーケティングをはじめとする企業経営との関係について理解を促した。 遠隔授業であったが、極力具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。	総平均授業評価4.5 カリキュラム改定に伴い、次年度以降は開講されないが、読み替え科目の「マーケティングと広告」では、Webムービーなどデジタル技術を活用した最先端のケースを取り入れ、テーマに対する関心を高めたい。
S201027 専門ゼミナールⅠ (新カリ)	達成目標 経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	遠隔授業であったが、各自で行ったケース分析の結果をメンバーで共有し、人の意見を参考にしながら思考する探求力を身につけるように心掛けた。	総平均授業評価3.7 対面授業となった場合は、留学生でも認知している企業のケースに基づいてメンバーでディスカッションやプレゼンテーションを行い、経営に対する関心を高めたい。

<p>S201068 専門ゼミ ナールII 【旧カリ】</p>	<p>達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>遠隔授業であったが、各自で行ったケース分析の結果をメンバーで共有し、人の意見を参考にしながら思考する探求力を身につけるように心掛けた。</p>	<p>総平均授業評価4.6 対面授業となった場合は、各自が取り組んだケーススタディに加え、他の学生の発表や意見からも刺激を受け、新たなテーマに自主的に取り組むように指導を行いたい。</p>
<p>S201099 専門ゼミ ナールIV</p>	<p>達成目標 企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p>	<p>遠隔授業であったが、事例や先行研究にあたりながら卒論のテーマを絞っていき、各自の報告とフィードバックをメンバー全員で共有し、問題意識が高まったと考える。</p>	<p>総平均授業評価4.9 卒論テーマに応じて個別に参考文献の紹介や調査方法などを提示し、テクニカルな指導を段階的に加えるようにしたい。</p>
<p>U201007 日本の産業</p>	<p>達成目標 日本の産業の発展過程と特徴を理解することができる。 産業と社会との関係を理解することができる。 今後のあるべき日本の産業像を考察することができる。</p>	<p>新カリキュラムに移行しての新規科目であった。遠隔授業であったが極力具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。 一部で学生の提案を共有して意見を求めた。各学科の専門に合わせて産業と社会との関係を理解することができたと考える。</p>	<p>総平均授業評価4.3 対面授業となった場合はテーマに対して思考や発表の要素を増やし、専門分野と産業、社会との関係における課題発見力を身につけることができるようにしたい。</p>